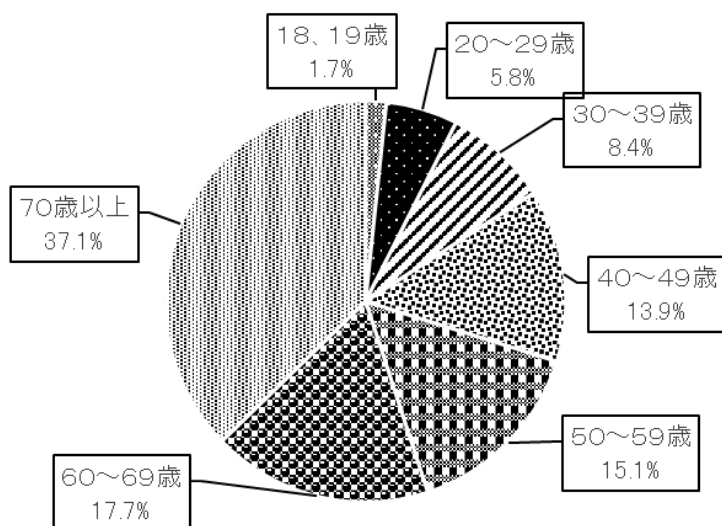


## 令和5年度県政世論調査結果（速報値※10月1日時点）概要について

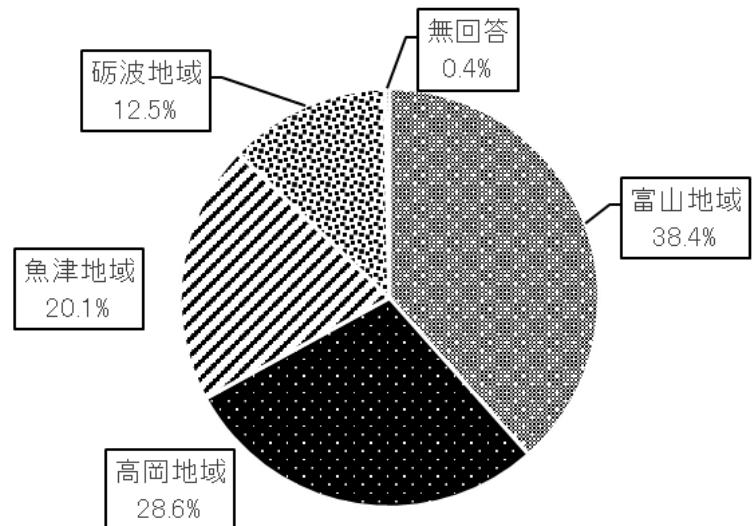
### <調査の概要>

- 1 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女4,000人
- 2 調査期間 令和5年8月7日～9月7日
- 3 調査方法 郵送調査
- 4 回収数(率) 1,990人(49.8%) (10月1日時点)  
※うちWEB回収 451(全回収数の22.7%)  
<R4年度:1,873人(46.8%) ※うちWEB回収455人  
(全体回収の24.2%)>

### 5 年代・地域別 (世代別)



### (地域別)



### 6 調査項目

- (1) 県政全般（政策の満足度・不満度、県政への要望）
- (2) 個別施策
  - ㊦ブランディング戦略、ウェルビーイング、
  - ㊦次の感染対策への備え、犯罪の予防
  - ㊦地域交通、リカレント教育、障害者福祉の充実
  - 福祉施策の充実、食品ロスの削減、㊦食育の推進
  - 中山間地域の振興、里親制度、㊦学びの選択肢
- (3) 意識調査
  - 郷土への愛着等に関する設問
  - 県民参考指標に関する設問

# 1 県政全般について

## <政策の満足度について>

県の政策について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」から1つ選択

### ○満足度の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、『北陸新幹線の整備促進』、『水資源の保全と活用』が上位となっている。
- ・前回21位だった『芸術文化の振興』は今年度、8位となっている。

順位	項目		%	前回R04 (参考)
1	北陸新幹線の整備促進	交流・物流	42.3	45.5 (1位)
2	水資源の保全と活用	環 境	26.0	29.1 (2位)
3	食の安全確保と地産地消・食育の推進	健康・福祉	25.3	25.8 (4位)
4	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	24.2	27.5 (3位)
5	医療提供体制の充実	健康・福祉	23.6	25.7 (5位)
6	利便性の高い道路ネットワークの整備	交流・物流	23.3	25.3 (6位)
7	健康づくりと疾病対策の推進	健康・福祉	20.9	23.1 (9位)
8	芸術文化の振興	県 民 活 動	19.3	20.0 (21位)
9	自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	地域づくり	19.0	21.6 (14位)
10	高齢者福祉の充実	健康・福祉	18.8	21.9 (11位)
10	自然環境の保全	環 境	18.8	21.9 (11位)

※『満足している』と『どちらかといえば満足している』を合わせた数値を指標としている。

### ○不満度の高い項目（上位10項目）

- ・前回同様、『景気対策(物価高騰対策などを含む)』『雪に強いまちづくり』『中心市街地の賑わいの創出』が上位となっている。
- ・『景気対策(物価高騰対策などを含む)』は49.1%と約半数となっている。

順位	項目		%	前回R04 (参考)
1	景気対策（物価高騰対策などを含む）	産 業	49.1	42.4 (3位)
2	雪に強いまちづくり	安全・安心	42.7	47.0 (1位)
3	中心市街地の賑わいの創出	まちづくり・観光	42.6	46.5 (2位)
4	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	まちづくり・観光	37.7	38.9 (5位)
5	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	産 業	37.2	40.7 (4位)
6	雇用の確保と人材の育成	産 業	36.6	36.7 (6位)
7	選ばれ続ける観光地づくり	まちづくり・観光	35.6	35.6 (8位)
8	富山のブランド力アップ	まちづくり・観光	34.8	36.7 (6位)
9	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	34.2	30.5 (16位)
10	生活交通の確保	安全・安心	33.0	32.5 (11位)

※『不満である』と『どちらかといえば不満である』を合わせた数値を指標としている。

< 県政への要望について >

県の政策のうち、もっと力を入れてほしいと思う政策を5つ以内で選択

- ・例年同様、雪対策、景気対策、高齢福祉、子育て支援、医療体制の関連項目が上位を占めている。
- ・前回2位だった、『景気対策』の割合が大きく増加し、32.1%となっている。(前回より5.1ポイント増)

○要望の高い項目（上位10項目）

順位	項目		%	前回R04 (参考)
1	景気対策（物価高騰対策などを含む）	産 業	32.1	27.0（2位）
2	雪に強いまちづくり	安全・安心	26.8	29.3（1位）
3	高齢者福祉の充実	健康・福祉	17.8	14.9（5位）
4	子育て支援	子育て・教育	17.0	19.1（3位）
5	医療提供体制の充実	健康・福祉	15.1	15.4（4位）
6	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	12.5	12.1（6位）
7	生活交通の確保	安全・安心	11.7	11.1（7位）
8	富山県や日本を担う子どもの育成	ひとづくり	11.3	10.3（8位）
9	元気な高齢者の活躍の場の拡大	県民活動	8.7	7.1（15位）
10	防災・危機管理体制の充実	安全・安心	8.6	9.1（9位）

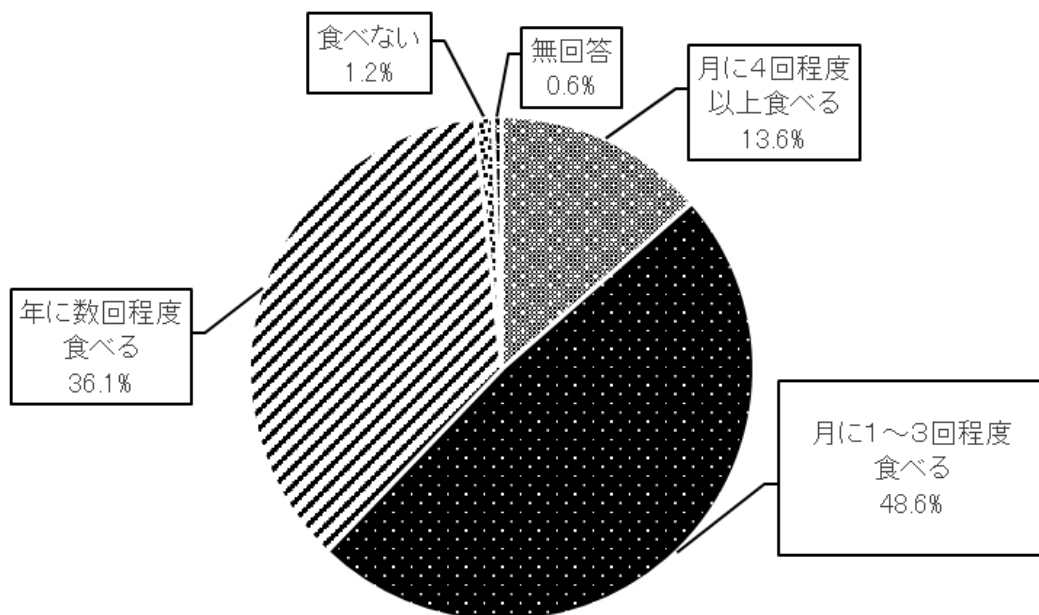
【参考】過去調査結果（上位5項目）

順位	要望調査（%）				
	R01	R02	R03	R04	R05
1	雪に強いまちづくり 22.7	景気対策 20.5	雪に強いまちづくり 29.0	雪に強いまちづくり 29.3	景気対策（物価対策などを含む） 32.1
2	景気対策 20.1	高齢者福祉の充実 17.1	景気対策 16.1	景気対策（物価対策などを含む） 27.0	雪に強いまちづくり 26.8
3	高齢者福祉の充実 16.5	子育て支援 16.1	医療提供体制の充実 13.7	子育て支援 19.1	高齢者福祉の充実 17.8
4	子育て支援 15.4	医療提供体制の充実 15.1	高齢者福祉の充実 13.4	医療提供体制の充実 15.4	子育て支援 17.0
5	医療提供体制の充実 14.4	雪に強いまちづくり 13.4	子育て支援 12.8	高齢者福祉の充実 14.9	医療提供体制の充実 15.1

## 2 ブランディング戦略について

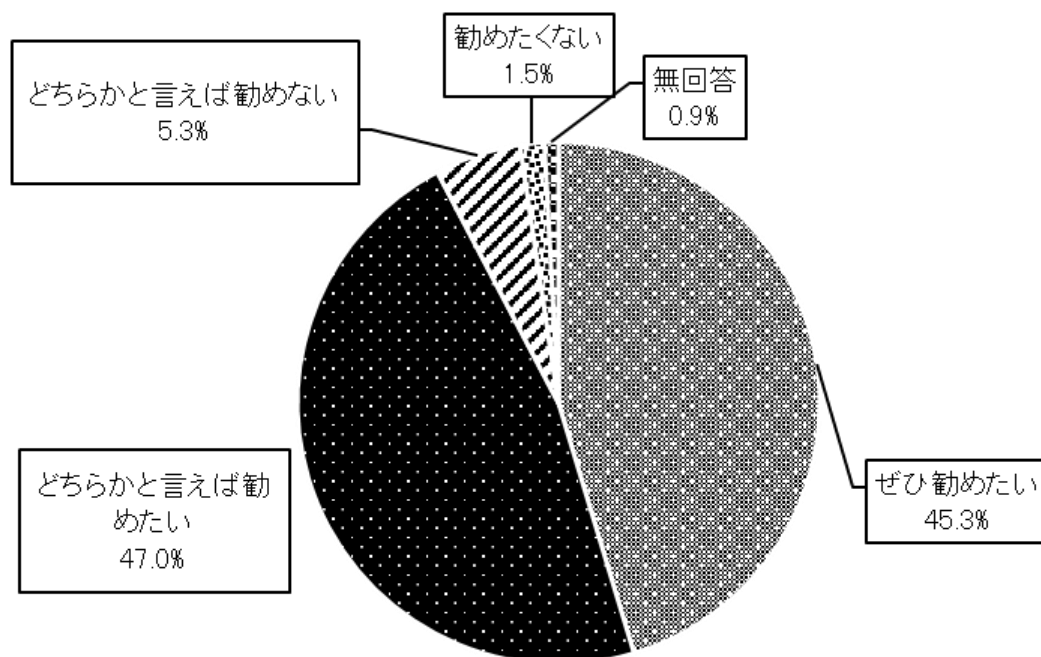
(1) 「寿司」をどの程度食べているかについて（単一回答）

・『月に1～3回程度食べる』が、48.6%と最も多くなっている。



(2) 県内の「寿司」を県外の知人・友人等に積極的に勧めたいかについて（単一回答）

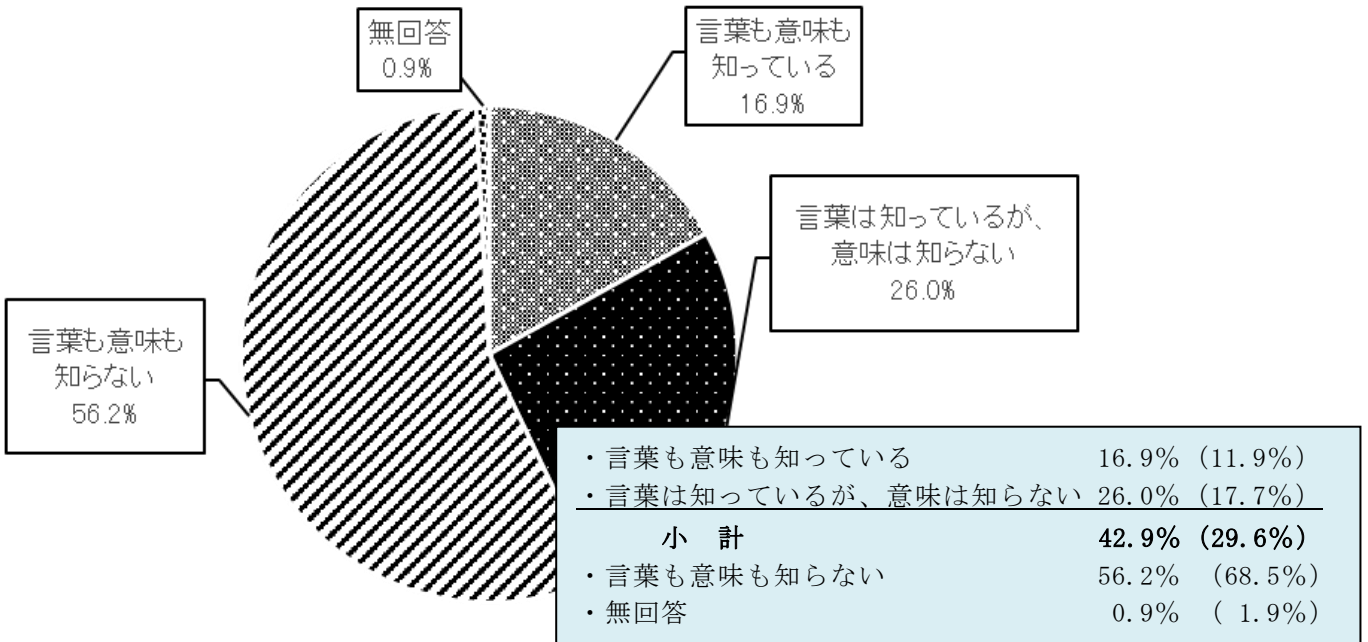
・『ぜひ勧めたい』(45.3%)と『どちらかと言えば勧めたい』(47.0%)を合わせて、92.3%となっており、9割を超えている。



### 3 ウェルビーイングについて

#### (1) 「ウェルビーイング」の認知度について（単一回答）

- ・『言葉も意味も知っている』が16.9%と前回（R4）調査より5ポイント増加している。（R4:11.9%）
- ・『言葉を知っている』（『言葉も意味も知っている』と『言葉は知っているが意味は知らない』を合算したものが）42.9%と前回調査より13.3ポイント増加している。（R4:29.6%）

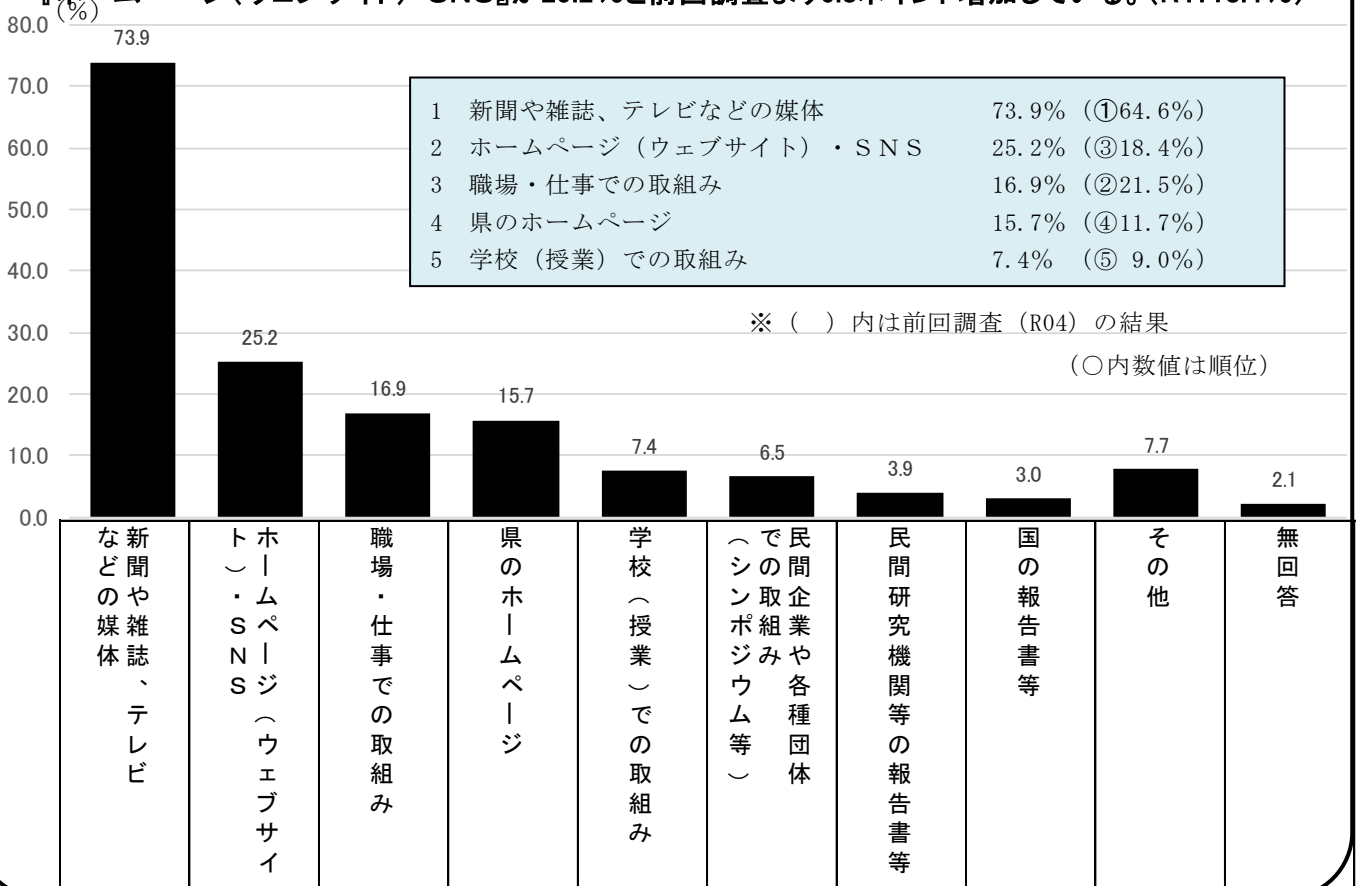


※（ ）内は前回調査（R4）の結果

#### (2) 「ウェルビーイングを知った主なきっかけ」について

（複数回答：3つ以内）※対象者：(1)で「言葉も意味も知っている」と回答した者

- ・『新聞や雑誌、テレビなどの媒体』が73.9%と最も多くなっている。
- ・『ホームページ(ウェブサイト)・SNS』が25.2%と前回調査より6.8ポイント増加している。（R4:18.4%）



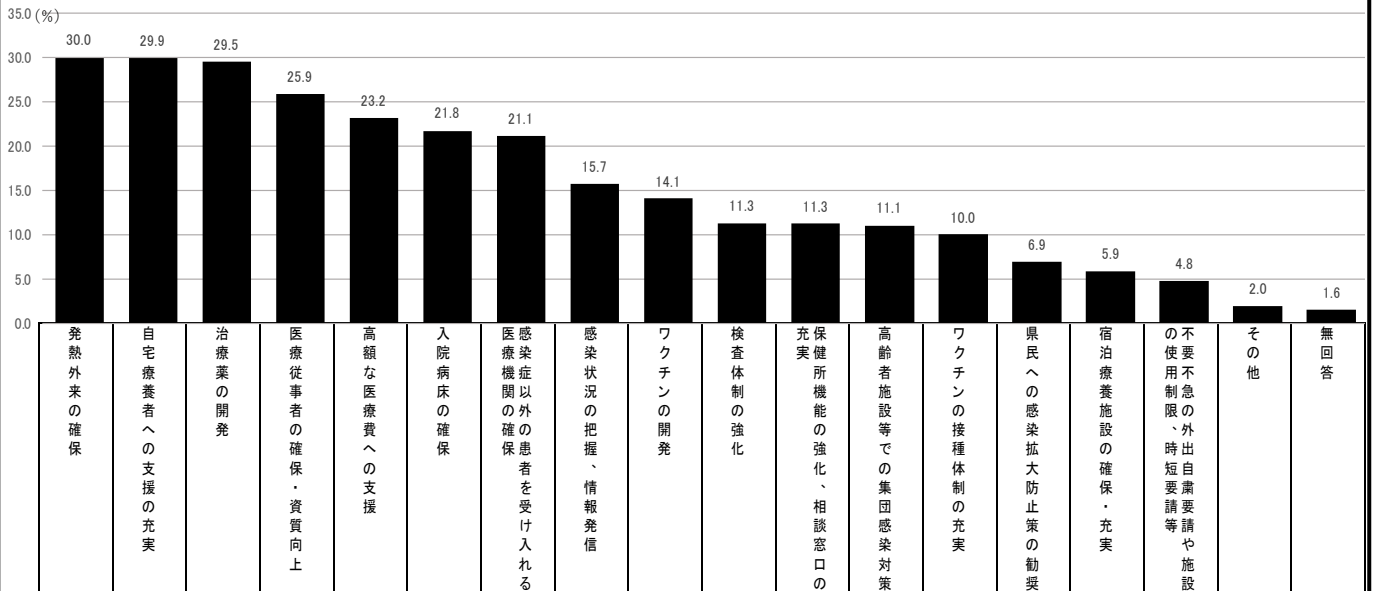
※（ ）内は前回調査（R4）の結果

(○内数値は順位)

#### 4 次の感染対策への備えについて

(1) 今後の新たな感染症に備え、感染対策として充実した方が良いと思う取組みについて（複数回答：3つ以内）

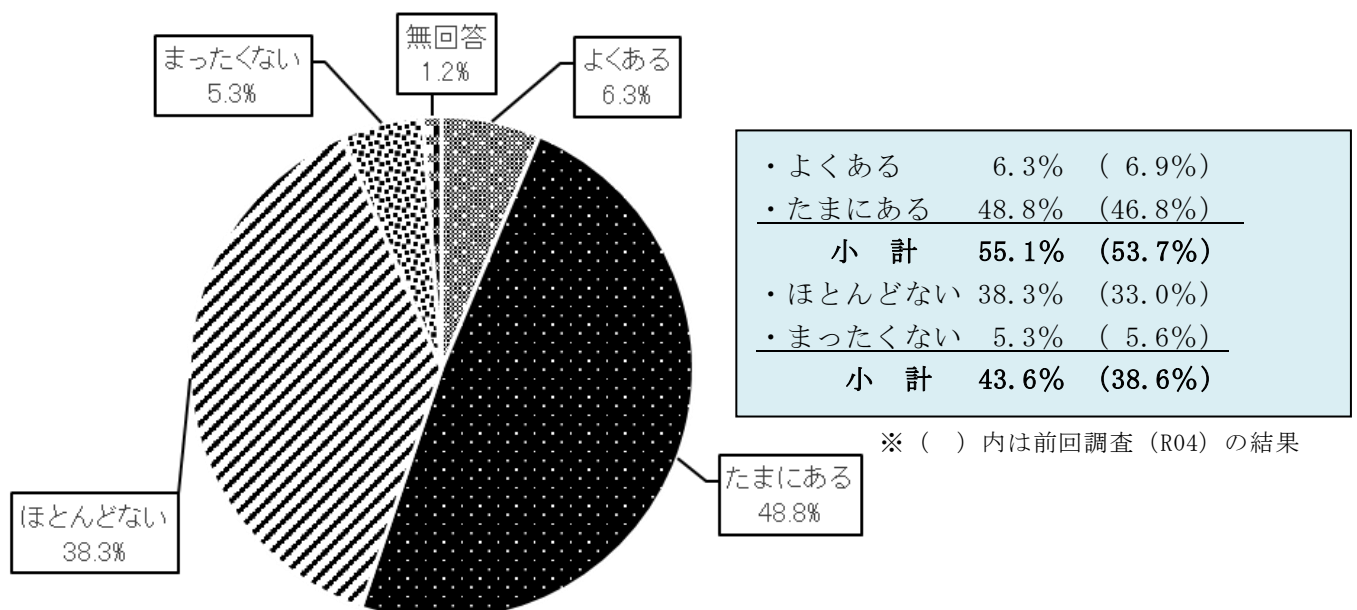
- ・上位から『発熱外来の確保』『自宅療養者への支援の充実』『治療薬の開発』となっている。



#### 5 犯罪の予防について

(1) 自分や家族が犯罪の被害に遭うのではないかと不安に感じることもあるかについて（単一回答）

- ・『よくある』と『たまにある』を合わせて、55.1%で前回(R4)より1.4ポイント増加した。(R4:53.7%)

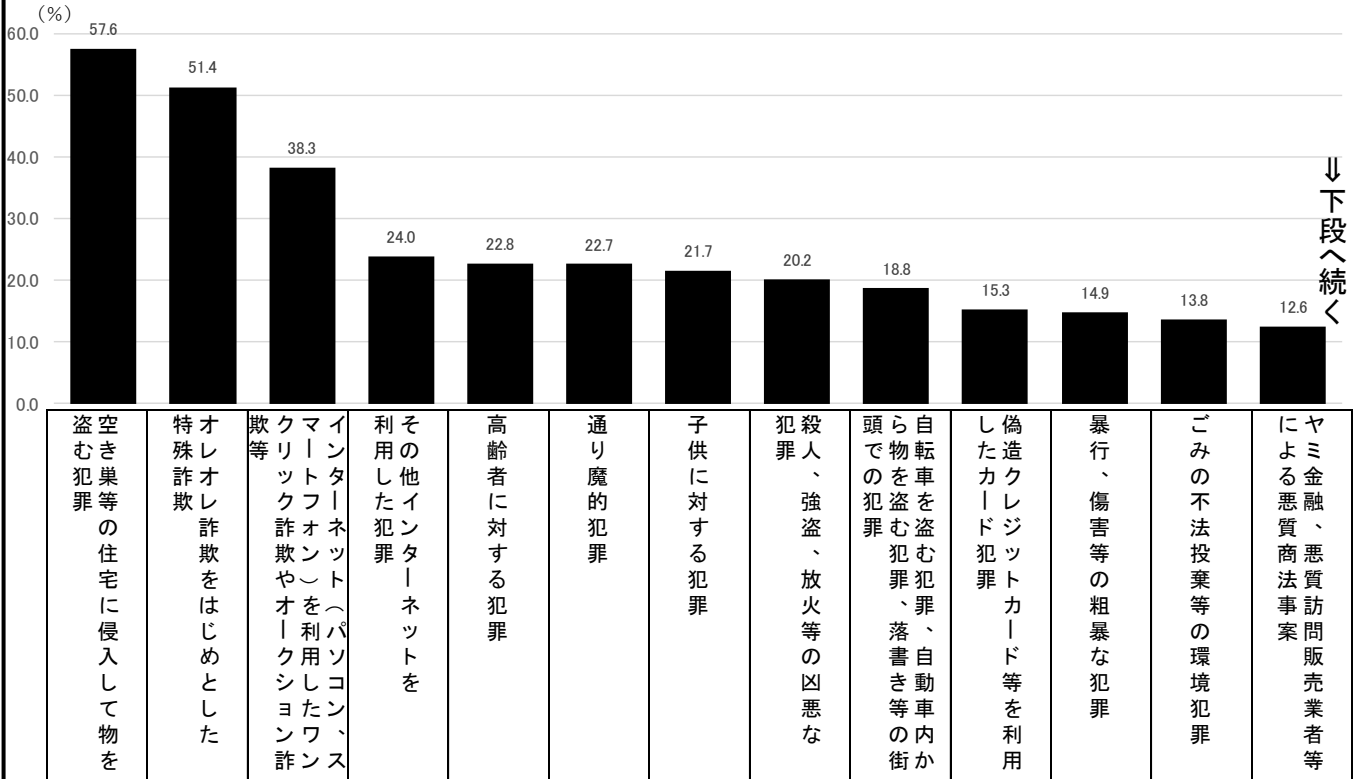


(2) どのような犯罪に不安を感じるかについて (複数回答: 5つ以内)

※対象者: 上記(1)で「よくある」「たまにある」と回答した者

・前回(R4)同様、『空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪』『オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺』『インターネットによるワンクリック詐欺やオークション詐欺』が上位となっている。

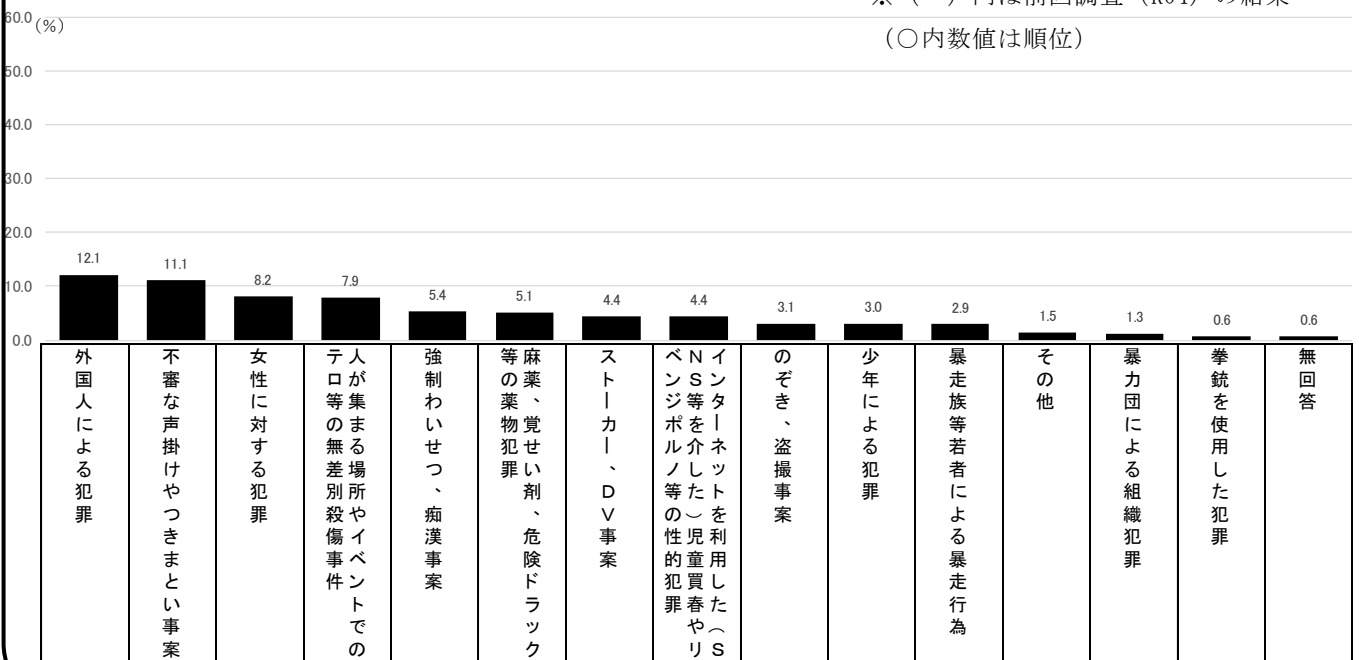
・『高齢者に対する犯罪』が22.8%と前回調査より6.8ポイント増加している。(R4:16.0%)



1 空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪	57.6% (①50.5%)
2 オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺	51.4% (②41.9%)
3 インターネットを利用したワンクリック詐欺やオークション詐欺	38.3% (③41.8%)
4 その他インターネットを利用した犯罪	24.0% (⑦22.6%)
5 高齢者に対する犯罪	22.8% (⑫16.0%)

※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(○内数値は順位)

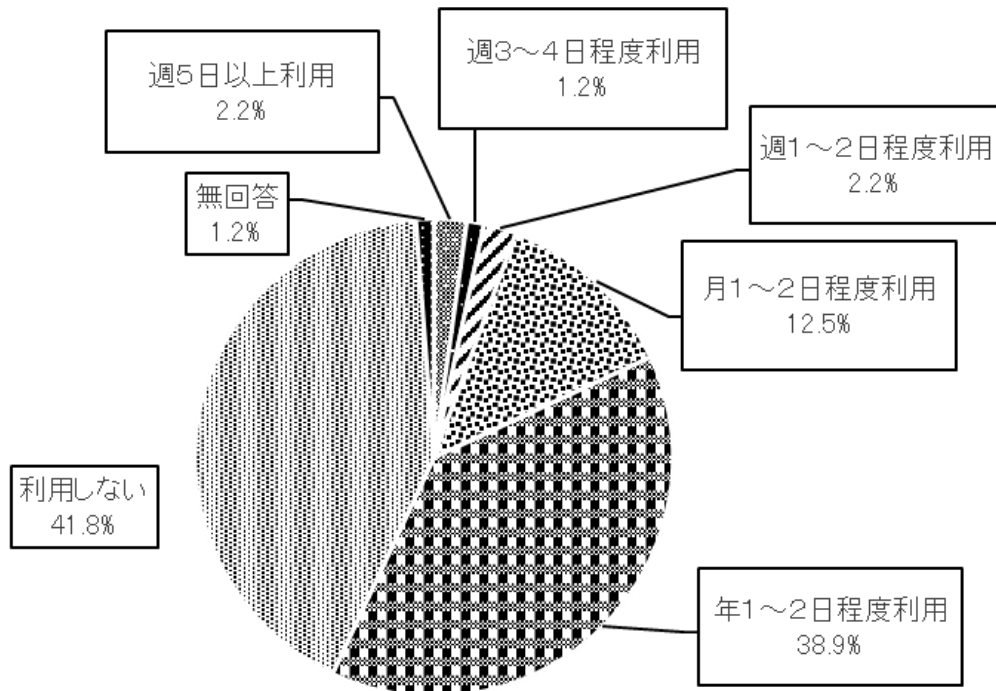




## 6 地域交通について

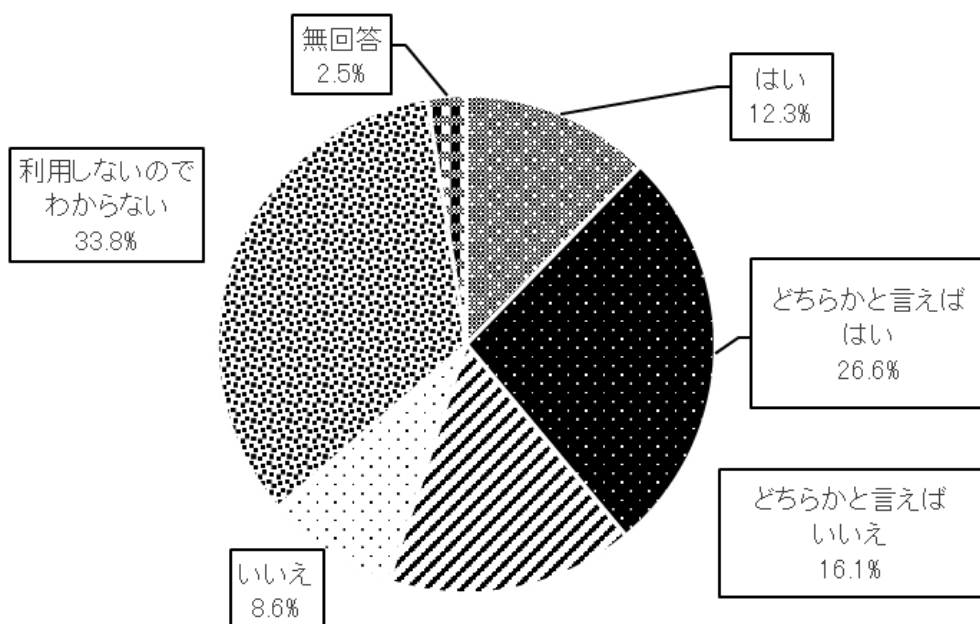
(1) 普段の生活で県内の鉄道、路面電車、バス、タクシーなどをどの程度利用するかについて (単一回答)

- ・『利用しない』が41.8%と最も多く、次いで『年1～2回程度利用』が38.9%となっている。



(2) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことがあるかについて (単一回答)

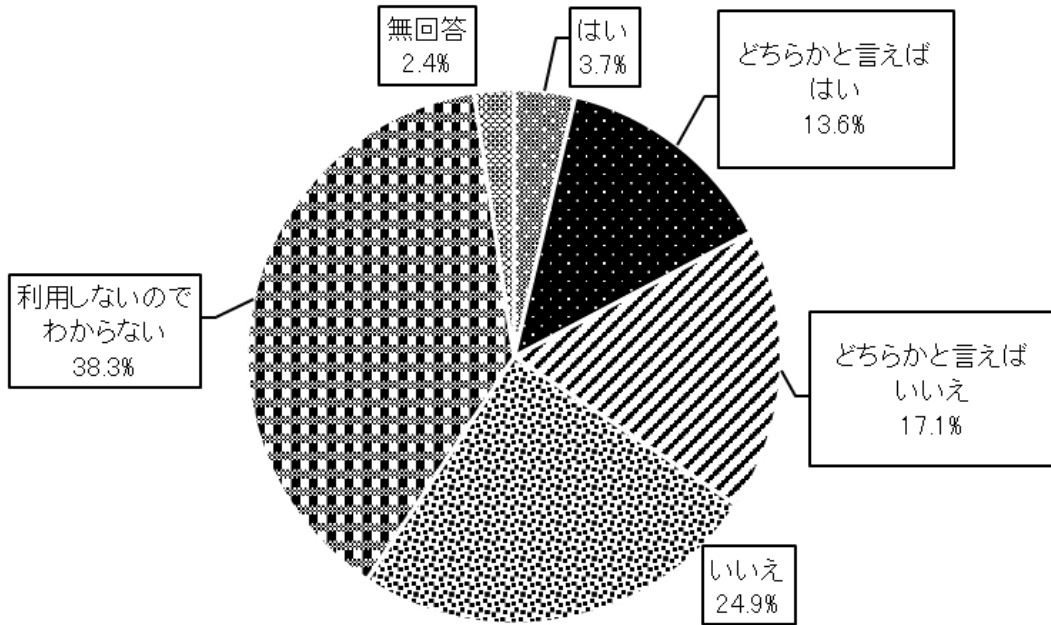
- ・『はい』と『どちらかと言えばはい』を合わせて38.9%となっている。
- ・『どちらかと言えばいいえ』と『いいえ』を合わせて24.7%となっている。





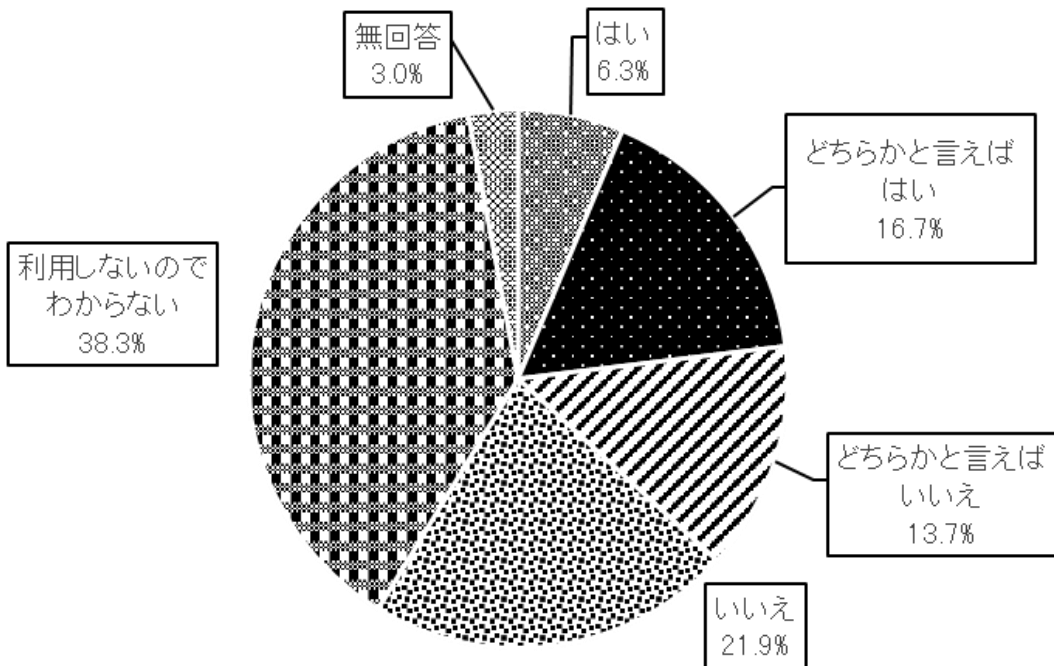
(3) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わり合いができた、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことがあるかについて（単一回答）

- ・『はい』と『どちらかと言えばはい』を合わせて17.3%となっている。
- ・『どちらかと言えばいいえ』と『いいえ』を合わせて42.0%となっている。



(4) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得にでかけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことがあるかについて（単一回答）

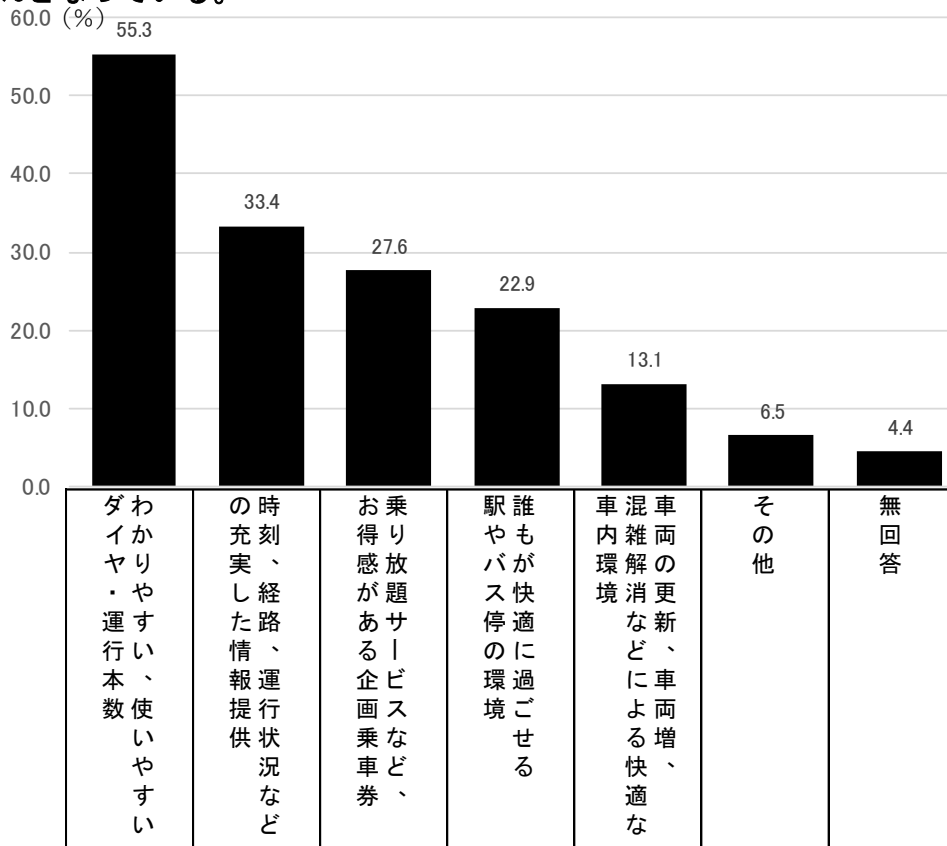
- ・『はい』と『どちらかと言えばはい』を合わせて23.0%となっている。
- ・『どちらかと言えばいいえ』と『いいえ』を合わせて35.6%となっている。



(5) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどの利用促進のために重視する点について

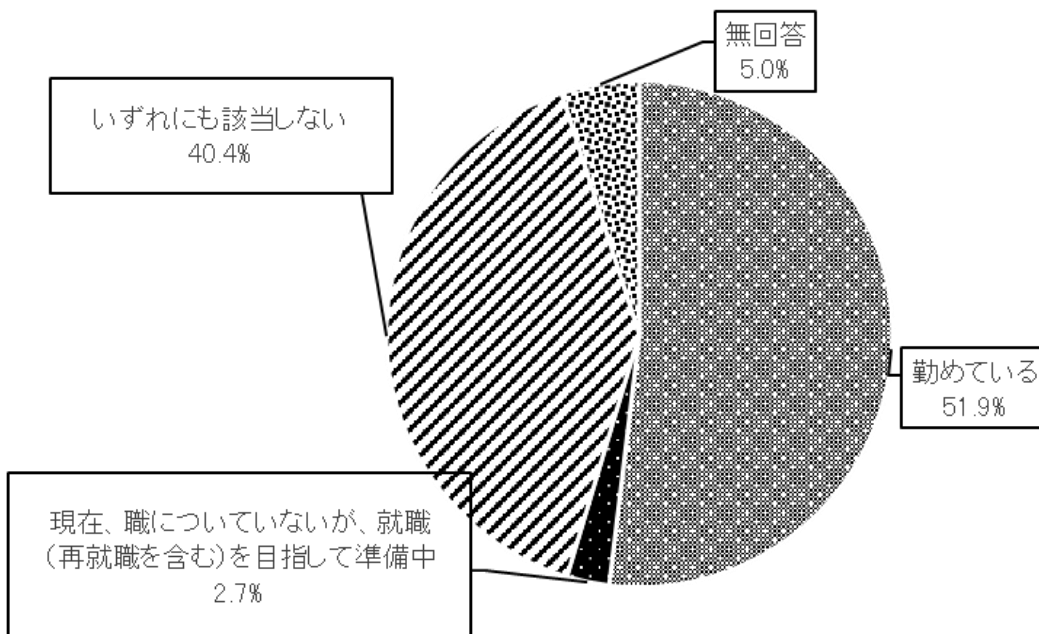
(複数回答：2つ以内)

・『わかりやすい、使いやすいダイヤ・運行本数』が55.3%と最も多く、次いで『時刻、経路、運行状況などの充実した情報提供』が33.4%、『乗り放題サービスなど、お得感がある企画乗車券』が27.6%となっている。



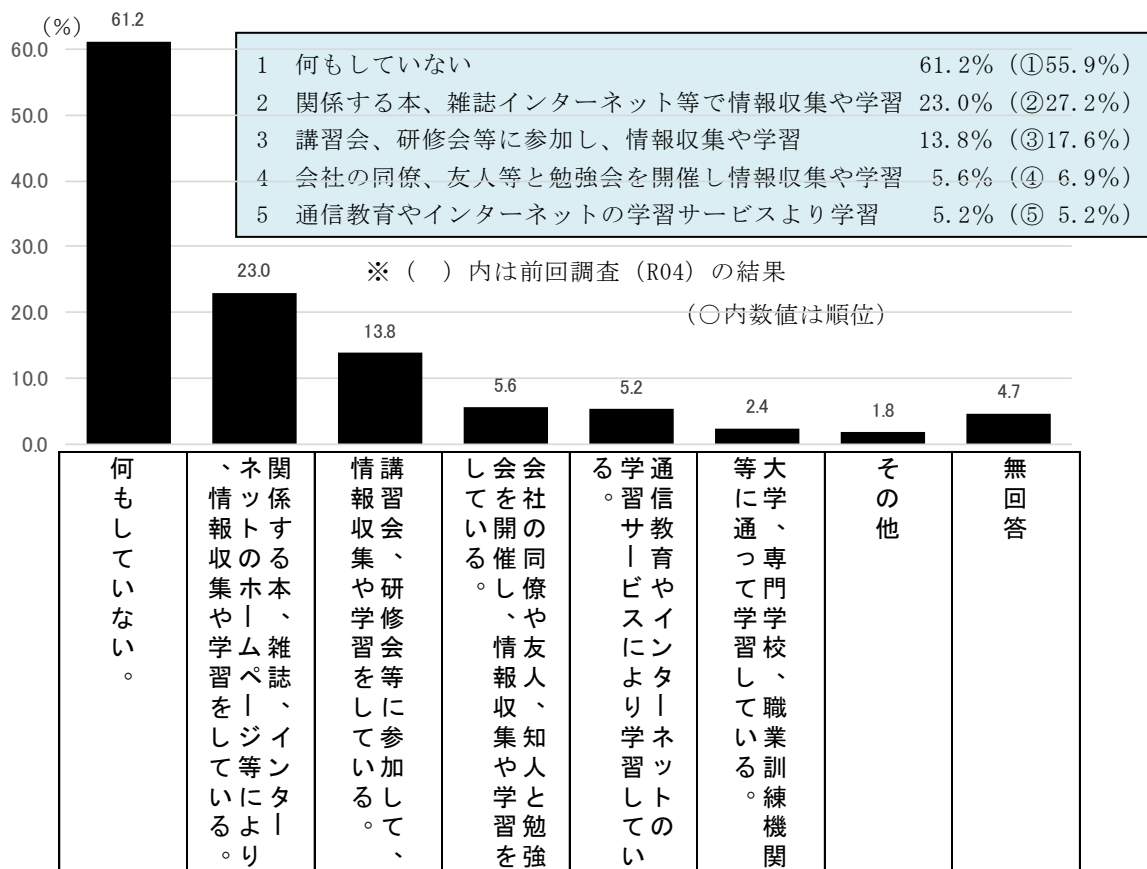
7 リカレント教育の取組みについて

(1) 現在、勤めているかについて (単一回答)



(2) リカレント教育（社会人の学び直し）として、現在何か取り組んでいるかについて（複数回答：いくつでも）※対象者：上記（1）で「勤めている」「現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中」と回答した者

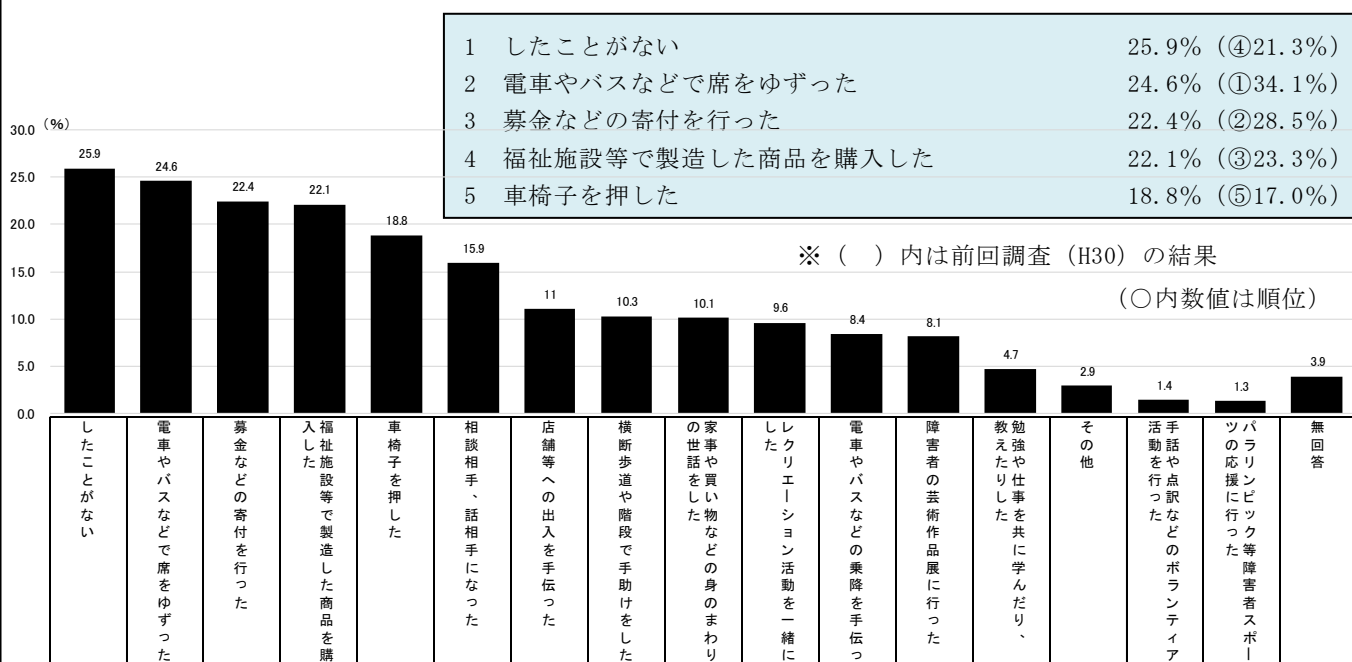
・『何もしていない』が61.2%と最も多くなっており、前回調査よりも5.3ポイント増えている。(R4:55.9%)



## 8 障害者福祉の充実について

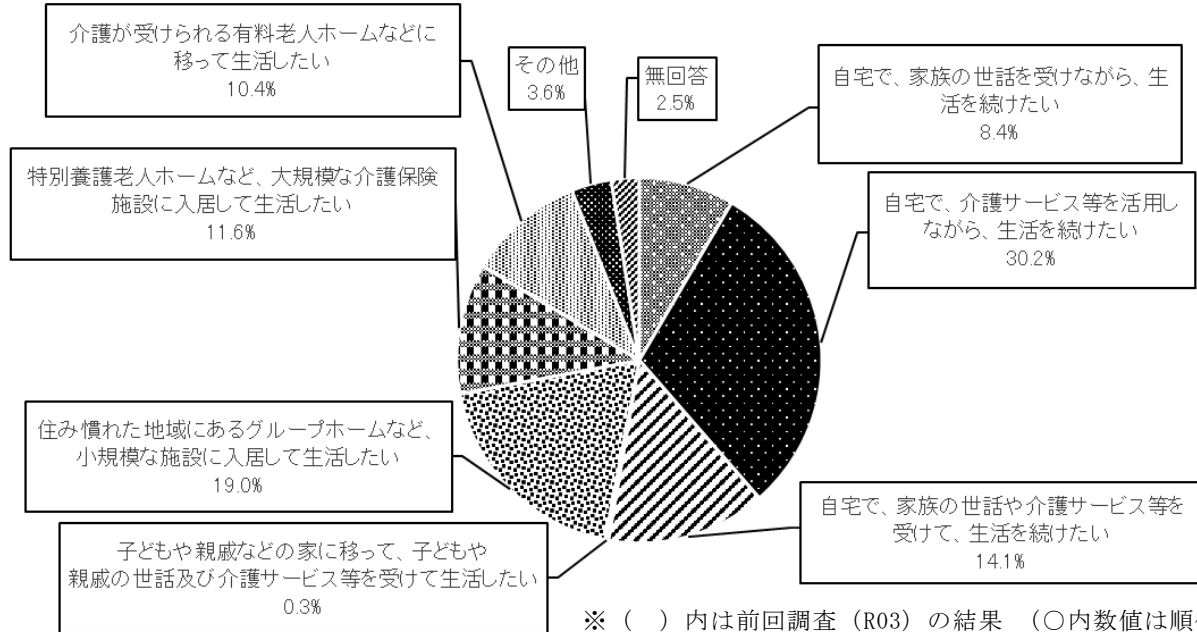
(1) 障害のある人に対し、どのような交流や手助けをしたことがあるかについて（複数回答：いくつでも）

・『したことがない』が25.9%と最も多く、次いで、『電車やバスなどで席をゆずった』が24.6%、『募金などの寄付を行った』が22.4%、『福祉施設等で製造した商品を購入した』が22.1%となっている。



## 9 福祉施策の充実について

(1) 自身に介護が必要になった場合、どのような生活を望むかについて（単一回答）  
 ・前回（R3）同様『自宅で介護サービス等を活用し、生活しながら生活を続けたい』が30.2%と最も多くなっている。



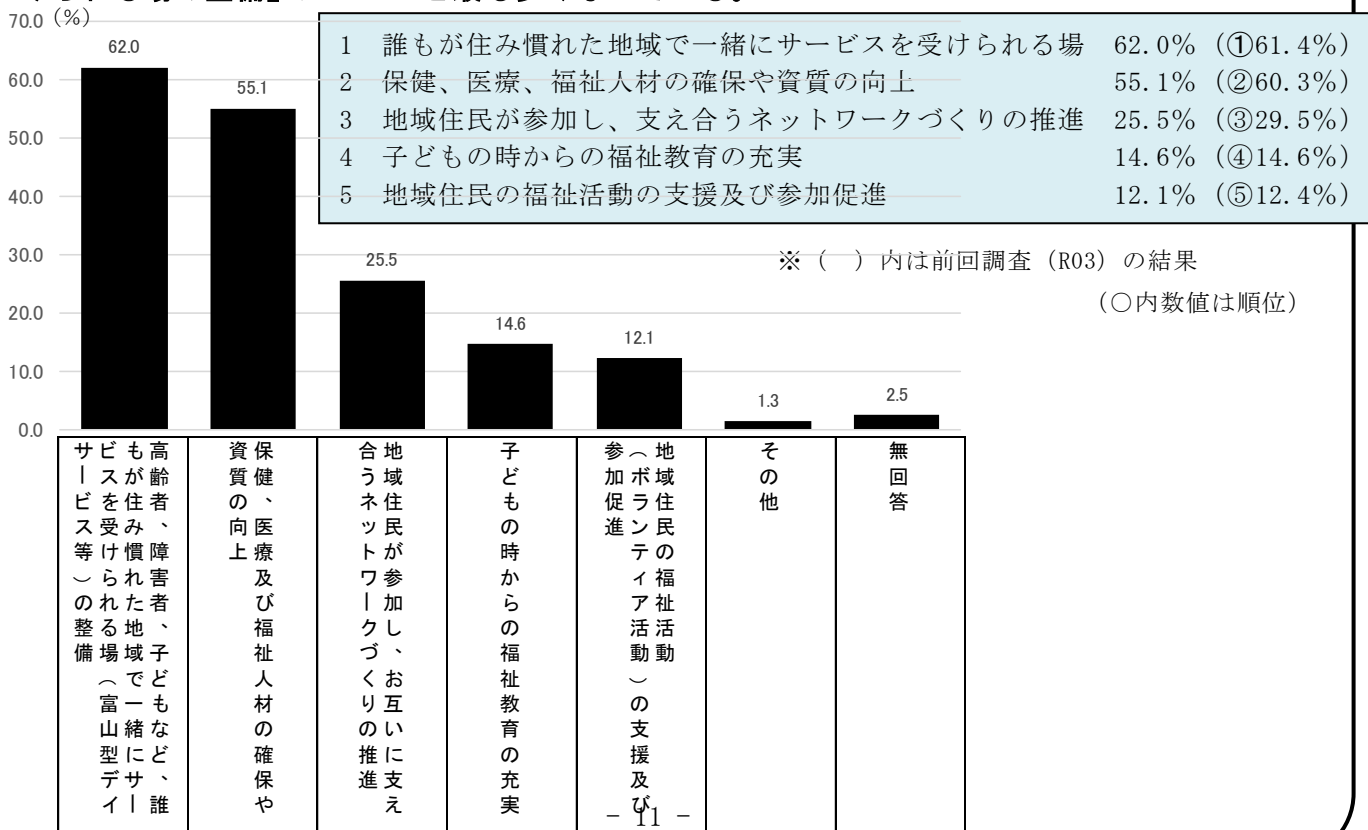
※（ ）内は前回調査（R3）の結果（○内数値は順位）

1 自宅で、介護サービス等を活用し、生活	30.2%	(①30.2%)
2 住み慣れた地域にあるグループホームなど小規模な施設に入居して生活	19.0%	(②19.3%)
3 自宅で家族の世話、介護サービス等を受けて生活	14.1%	(③13.6%)
4 特別養護老人ホームなど大規模な介護保険施設に入居し、生活	11.6%	(⑤10.7%)
5 介護が受けられる有料老人ホームなどに移り、生活	10.4%	(④12.5%)

(2) 誰もが住み慣れた地域で安心して生活するため、取り組むべき課題について

（複数回答：2つ以内）※対象者：(1)の「特別養護老人ホームなど、大規模な介護保険施設に入居して生活」、「介護が受けられる優良老人ホームなど移って生活」以外を回答した者

・前回（R3）同様『高齢者、障害者、子どもなど、誰もが住み慣れた地域と一緒にサービスを受けられる場の整備』が62.0%と最も多くなっている。



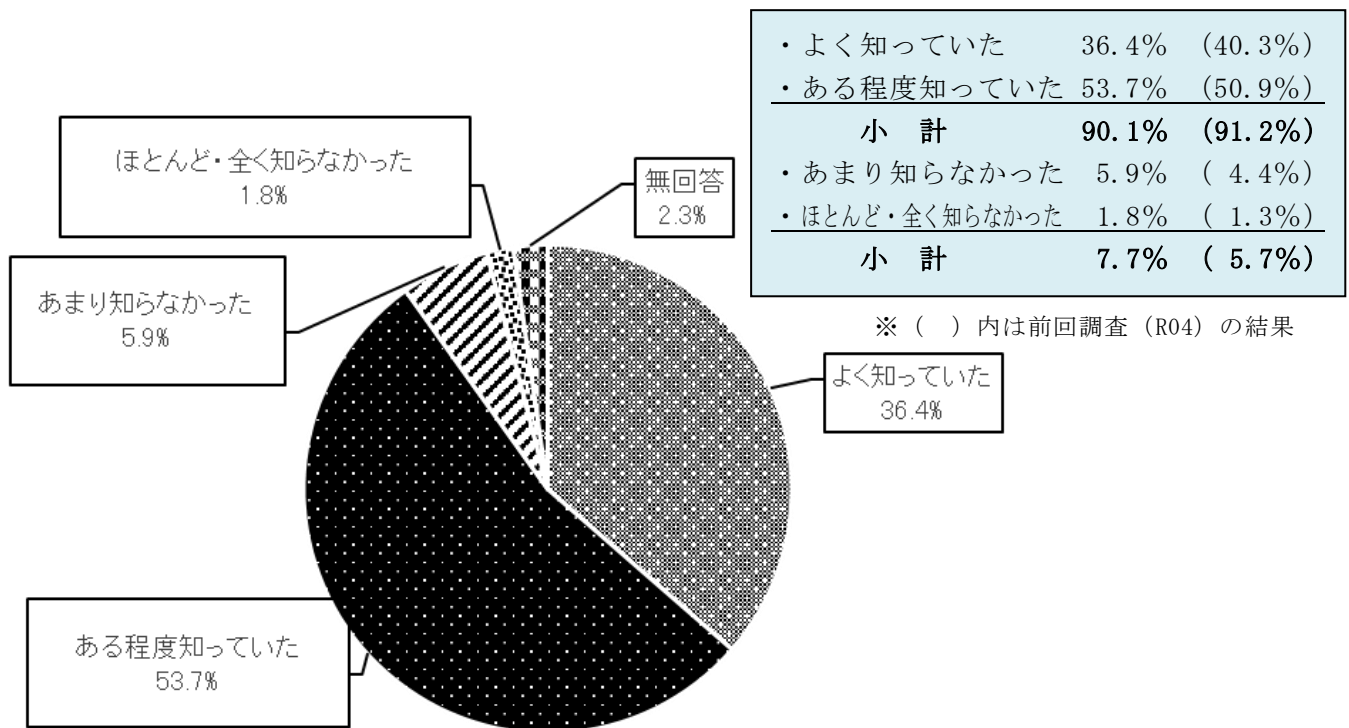
※（ ）内は前回調査（R3）の結果

（○内数値は順位）

## 10 食品ロスの削減について

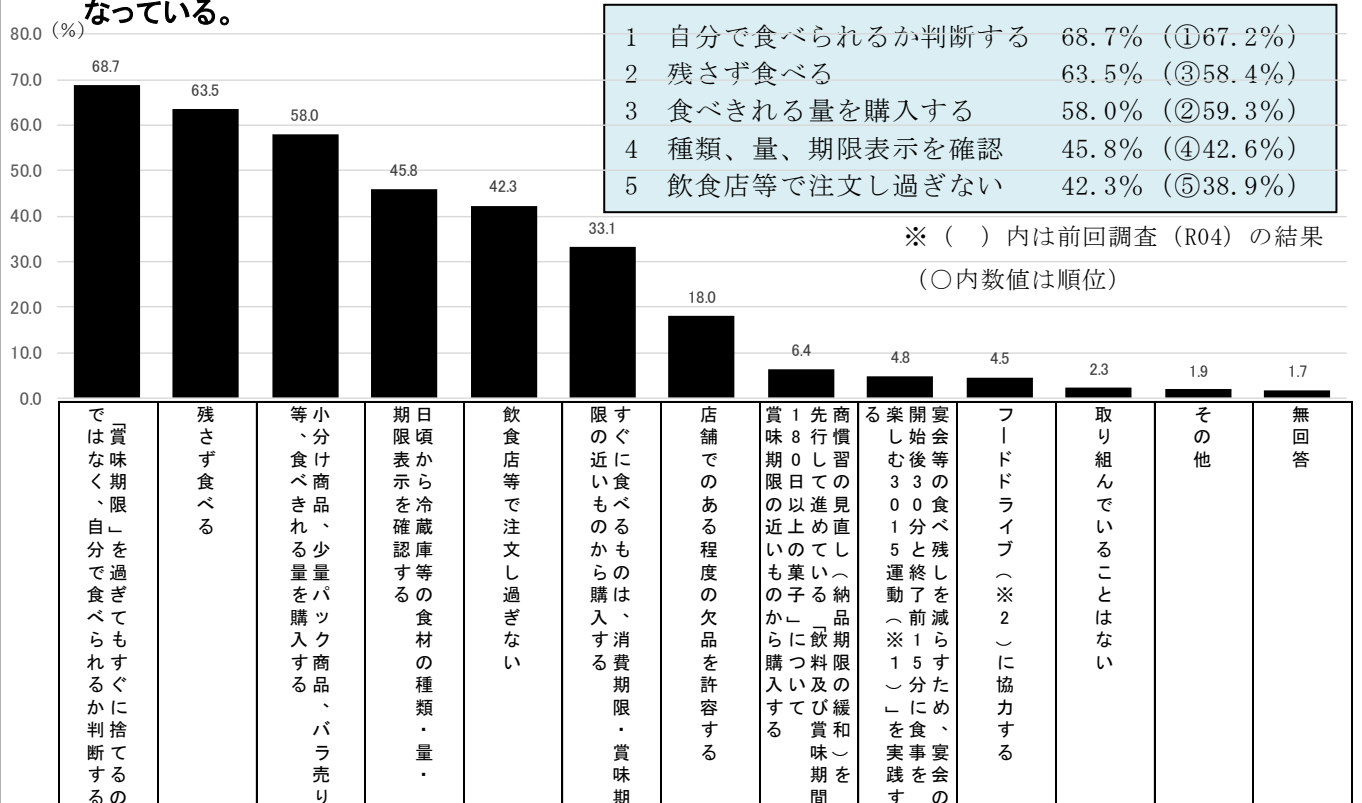
(1) 食品ロスの認知度について (単一回答)

・『よく知っていた』と『ある程度知っていた』を合わせて、前回(R4)同様、9割を超えている。



(2) 食品ロスを減らすために取り組んでいることについて (複数回答: いくつでも)

・『自分で食べられるか判断する』が1位、次いで『残さず食べる』、『食べきれる量を購入する』の順となっている。



※1「3015 (さんまるいちご) 運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動。

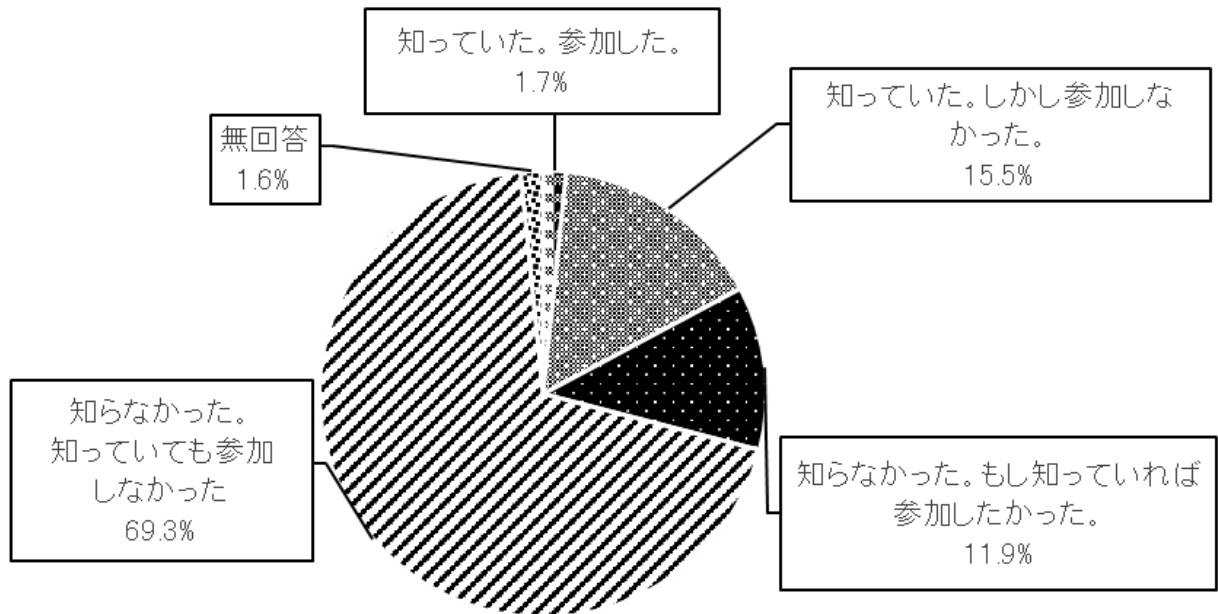
〔食べきり3015運動〕: 宴会時において、開演後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動。

〔使いきり3015運動〕: 毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使い切る運動。

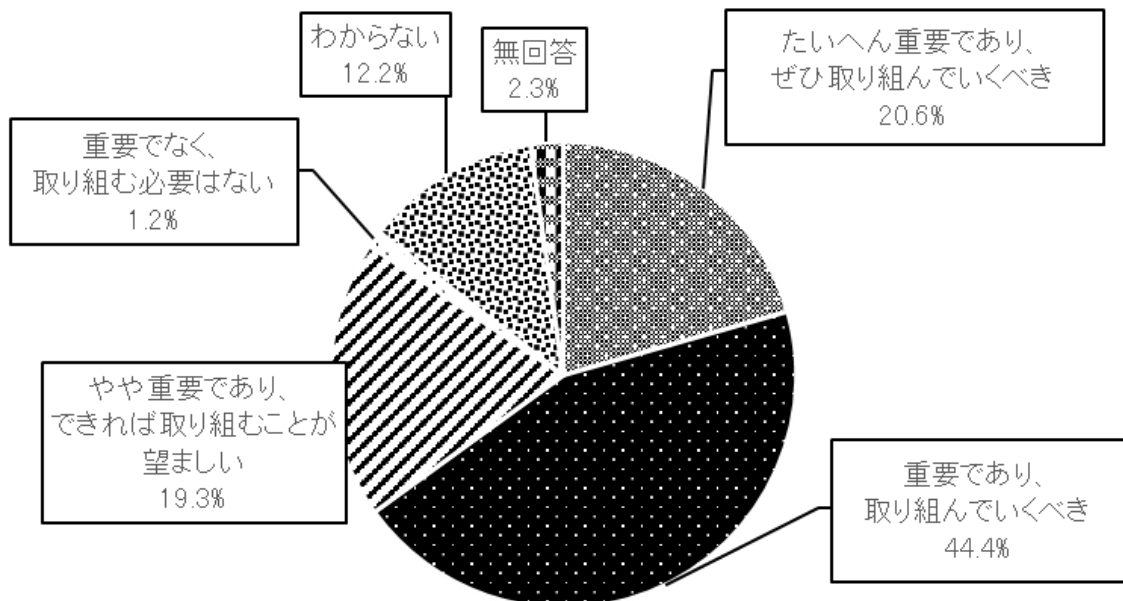
※2「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体や子ども食堂などに寄付する活動。

## 11 食育の推進について

- (1) 「第18回全国食育推進大会inとやま」の認知度について (単一回答)  
・『知らなかった。知っているも参加しなかった』が69.3%と最も多くなっている。



- (2) 食育 (※1) についてどのように考えているかについて (単一回答)  
・『重要であり、取り組んでいくべき』が44.4%と最も多くなっている。

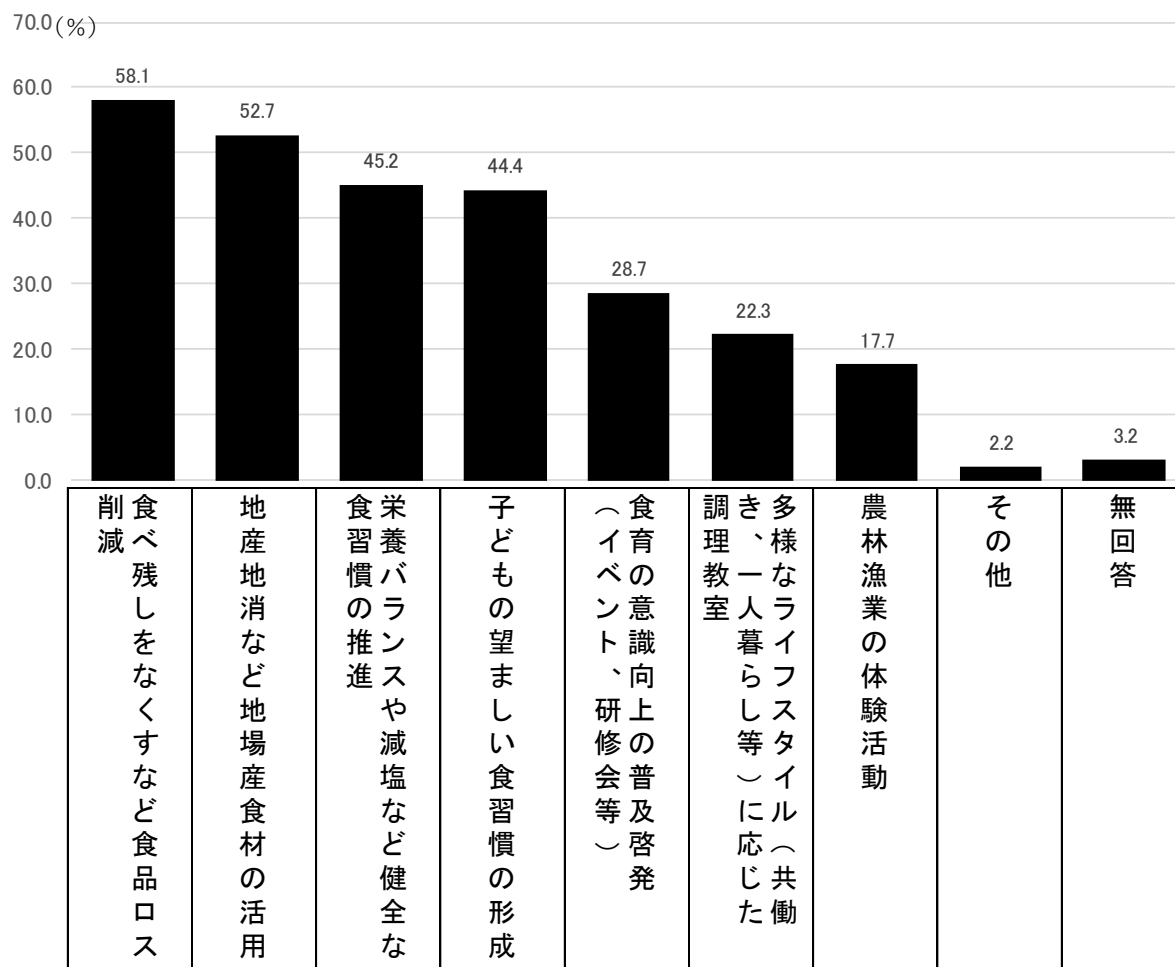


※1「食育」とは、「食」の知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てる取組み



(3) 食育を推進するにあたって、行政にどのような取組みを進めてもらいたいかについて（複数回答：いくつでも）

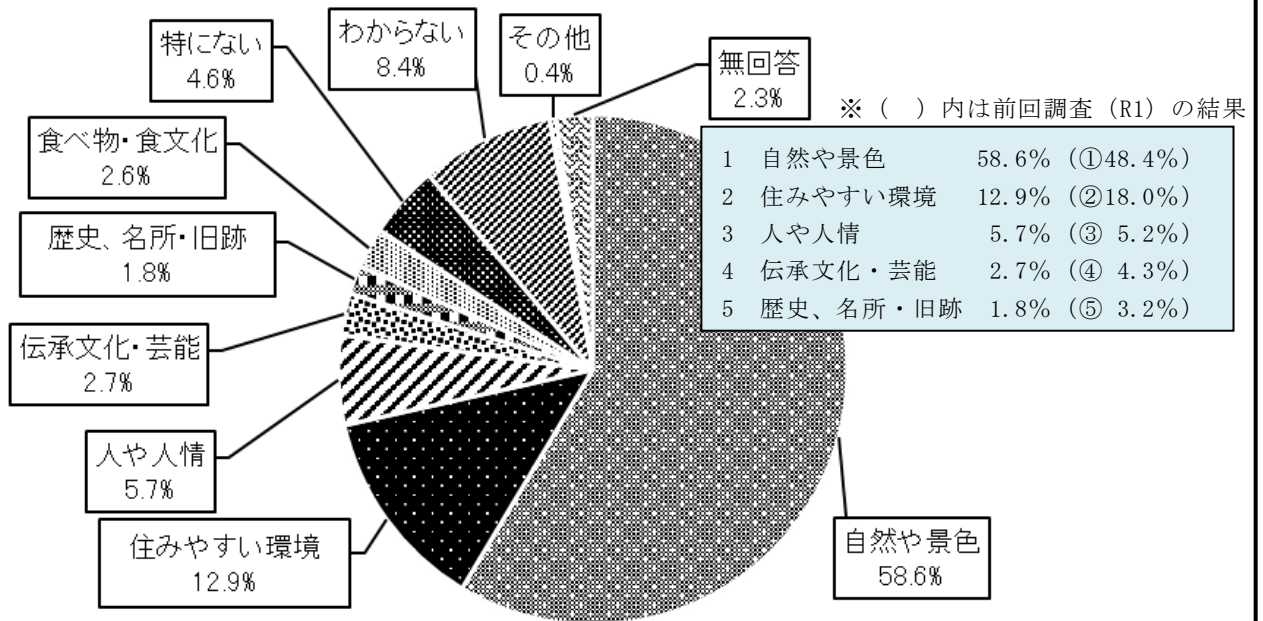
・『食べ残しをなくすなど食品ロス削減』が58.1%と最も多く、次いで『地産地消など地場食材の活用』が52.7%となっている。



## 12 中山間地域の振興について

(1) 中山間地域の魅力について (単一回答)

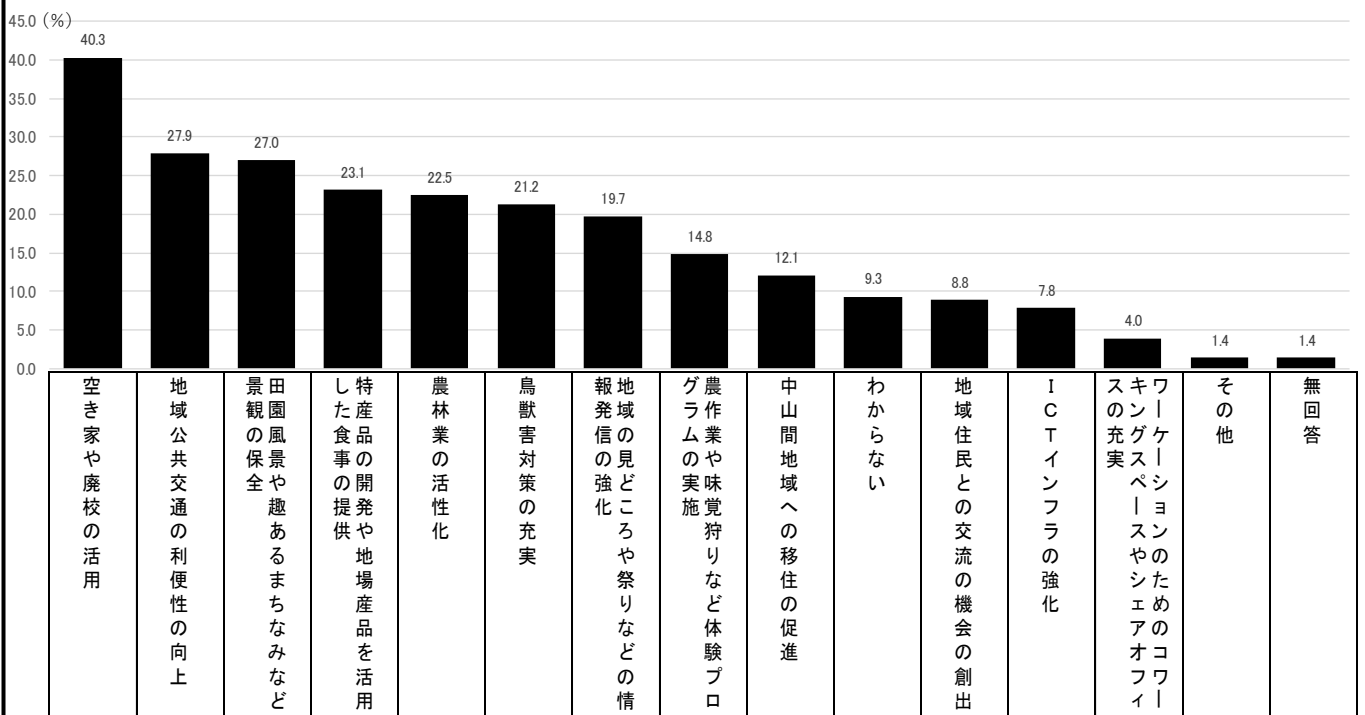
・『自然や景色』が58.6%と最も多くなっている。



(2) 中山間地域の魅力を向上するためにはどのような取り組みが必要かについて

(複数回答：3つ以内)

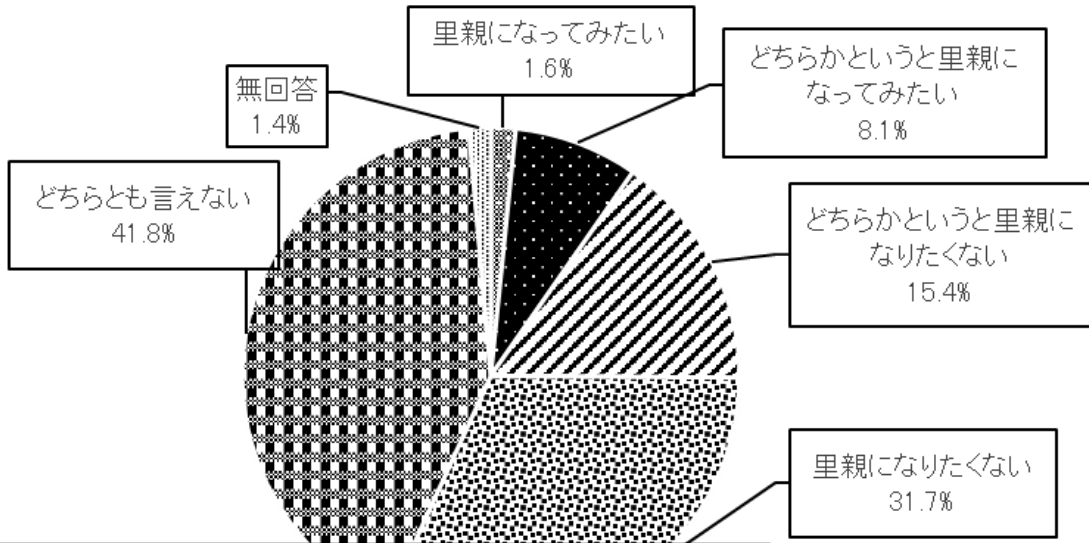
・『空き家や廃校の活用』が40.3%と最も多く、次いで『地域公共交通の利便性の向上』が27.9%、『田園風景や趣あるまちなみなど景観の保全』が27.0%となっている。



### 13 里親制度について

#### (1) 里親になってみたいかについて (単一回答)

- ・『里親になってみたい』と『どちらかという故里親になってみたい』を合わせて9.7%となっている。
- ・『どちらかという故里親になりたくない』『里親になりたくない』を合わせて47.1%となっている。



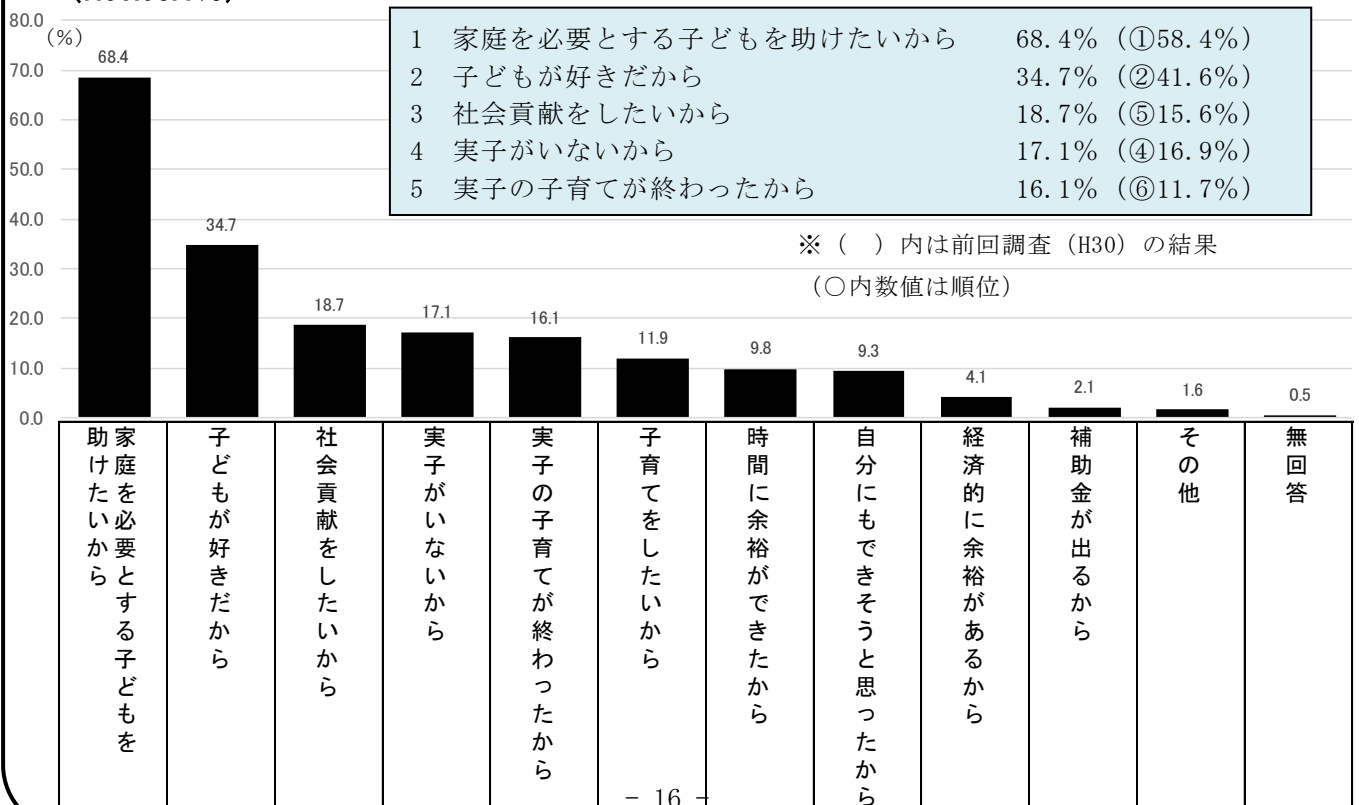
・里親になってみたい	1.6%	( 2.8%)
・どちらかという故里親になってみたい	8.1%	( 6.5%)
<b>小計</b>	<b>9.7%</b>	<b>( 9.3%)</b>
・どちらかという故里親になりたくない	15.4%	(14.3%)
・里親になりたくない	31.7%	(30.4%)
<b>小計</b>	<b>47.1%</b>	<b>(44.7%)</b>
・どちらとも言えない	41.8%	(43.2%)

※ ( ) 内は前回調査 (H30) の結果

#### (2) 里親になってみたい理由について (複数回答: いくつでも)

※(1)で「里親になってみたい」、「どちらかという故里親になってみたい」を回答した者

- ・『家庭を必要とする子どもを助けたいから』が68.4%と前回(H30)調査より10ポイント多くなっている。(H30:58.4%)



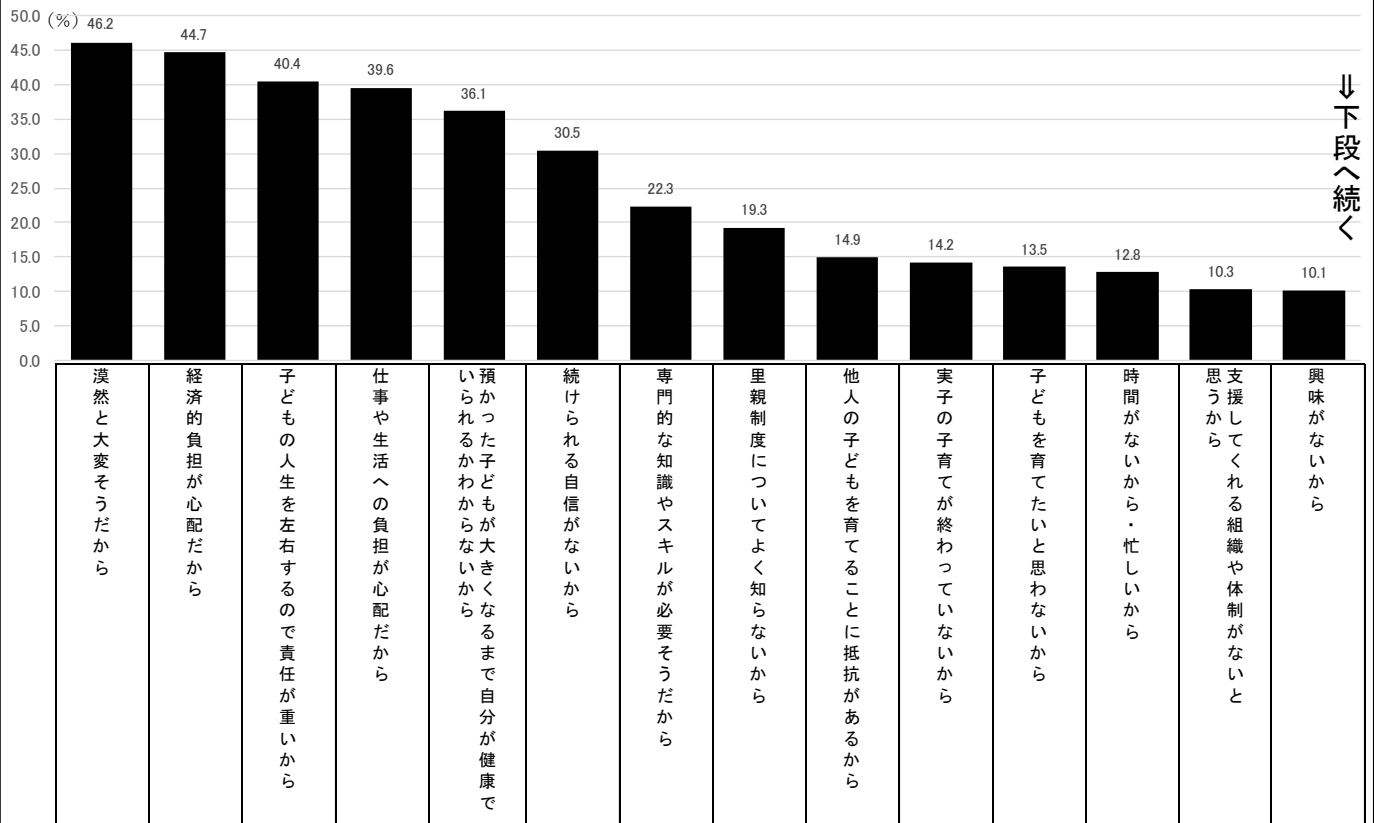
※ ( ) 内は前回調査 (H30) の結果

(○内数値は順位)

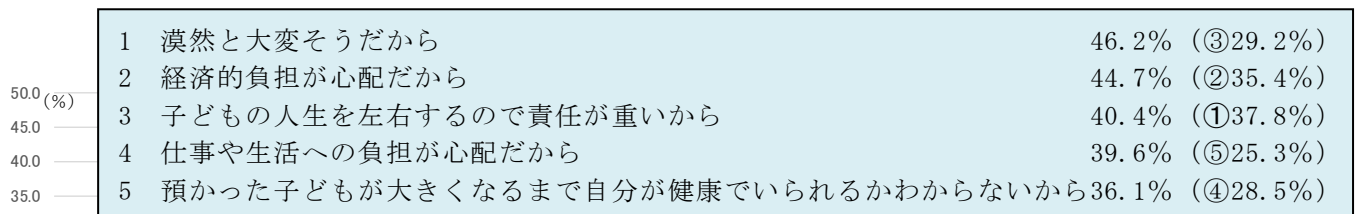
(3) 里親になりたくない理由について（複数回答：いくつでも）

※(1)で「どちらかという」と里親になりたくない、「里親になりたくない」を回答した者

・『漠然と大変そうだから』が46.2%と最も多く、次いで『経済的負担が心配だから』が44.7%、『子どもの人生を左右するので責任が重いから』が40.4%となっている。



↓下段へ続く



※ ( ) 内は前回調査 (H30) の結果

(○内数値は順位)

※H30は(1)で『どちらとも言えない』を回答した者も含まれている

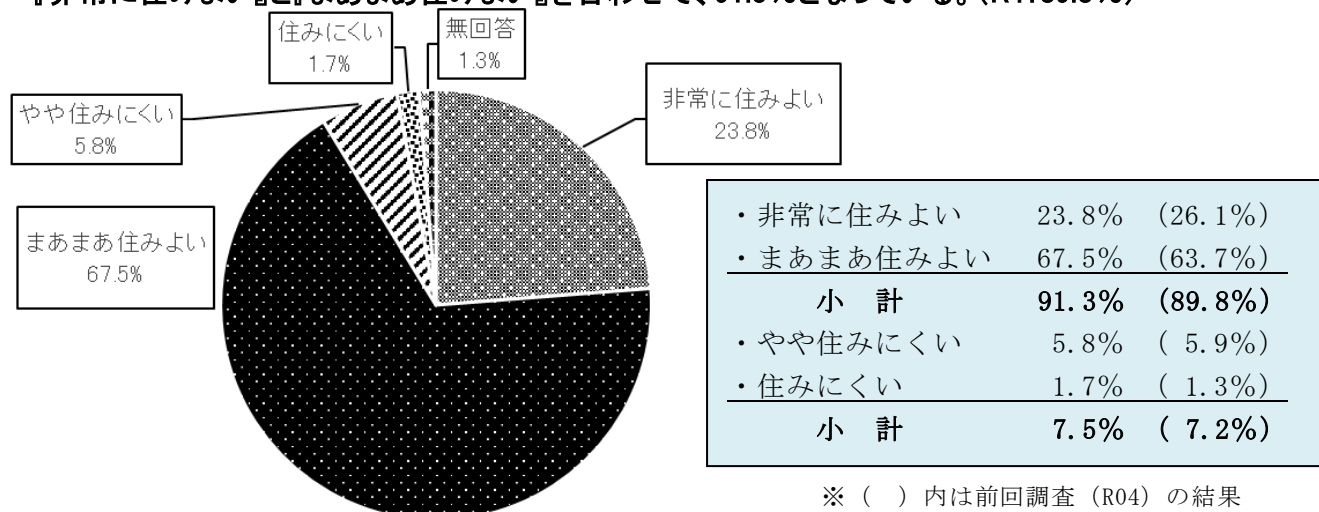


## 14 意識調査について

### <幸福度に関する設問>

(1) 富山県の住みよさについて (単一回答)

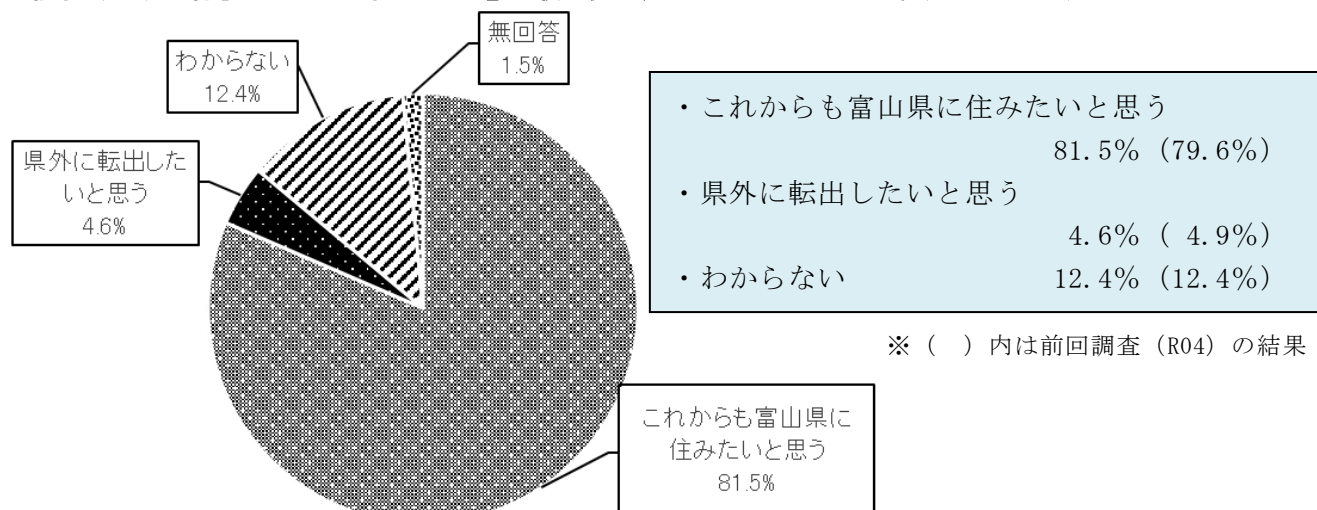
・『非常に住みよい』と『まあまあ住みよい』を合わせて、91.3%となっている。(R4:89.8%)



※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(2) 『これからも富山県に住みたいか』について (単一回答)

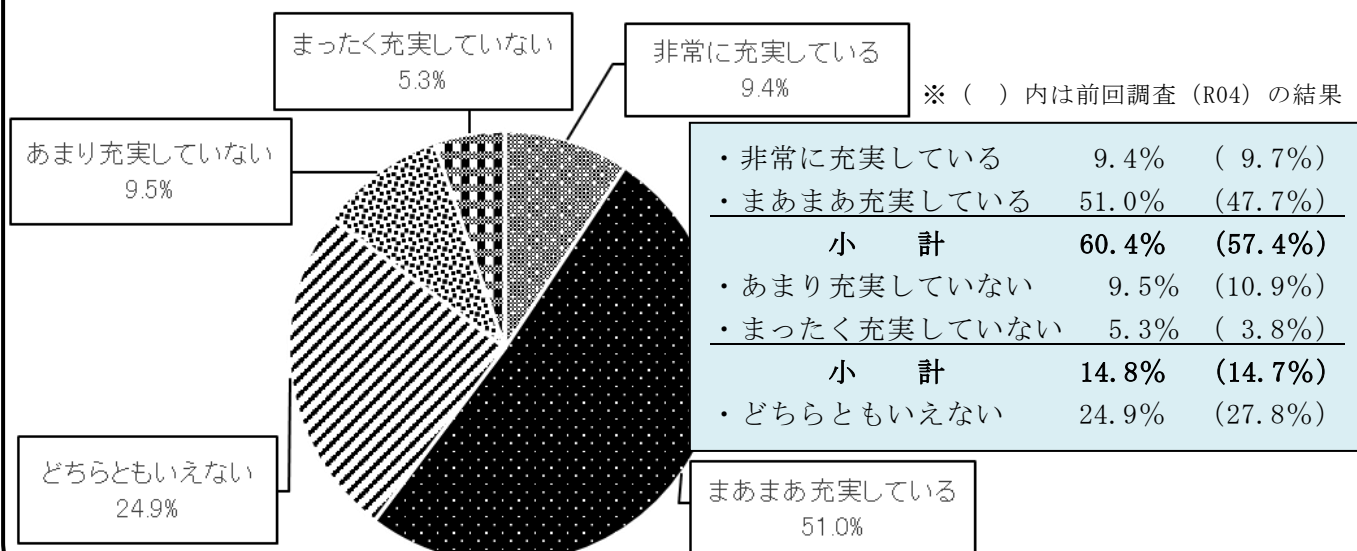
・前回(R4)同様『これからも住みたい』が最も多く、81.5%となっている。(R4:79.6%)



※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(3) 仕事の充実感 (満足感) について (注「仕事をしていない」「無回答」と回答した方を除く) (単一回答)

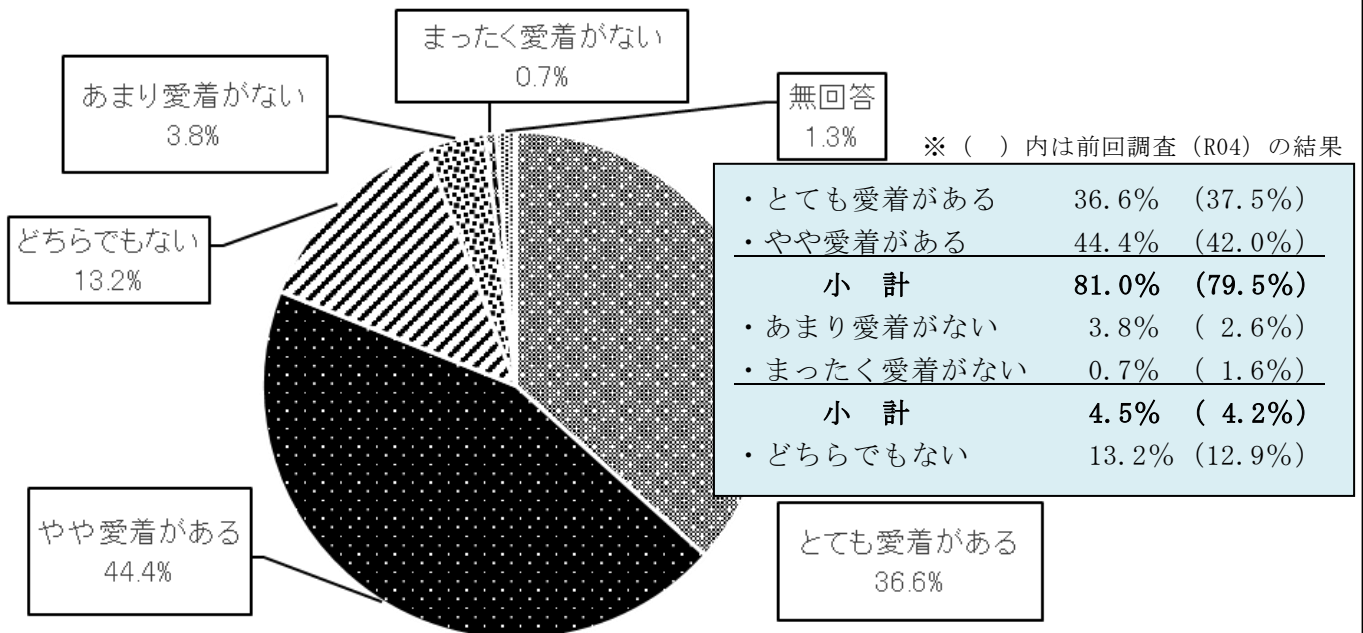
・『非常に充実している』と『まあまあ充実している』を合わせて、60.4%となっている。(R4:57.4%)



※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

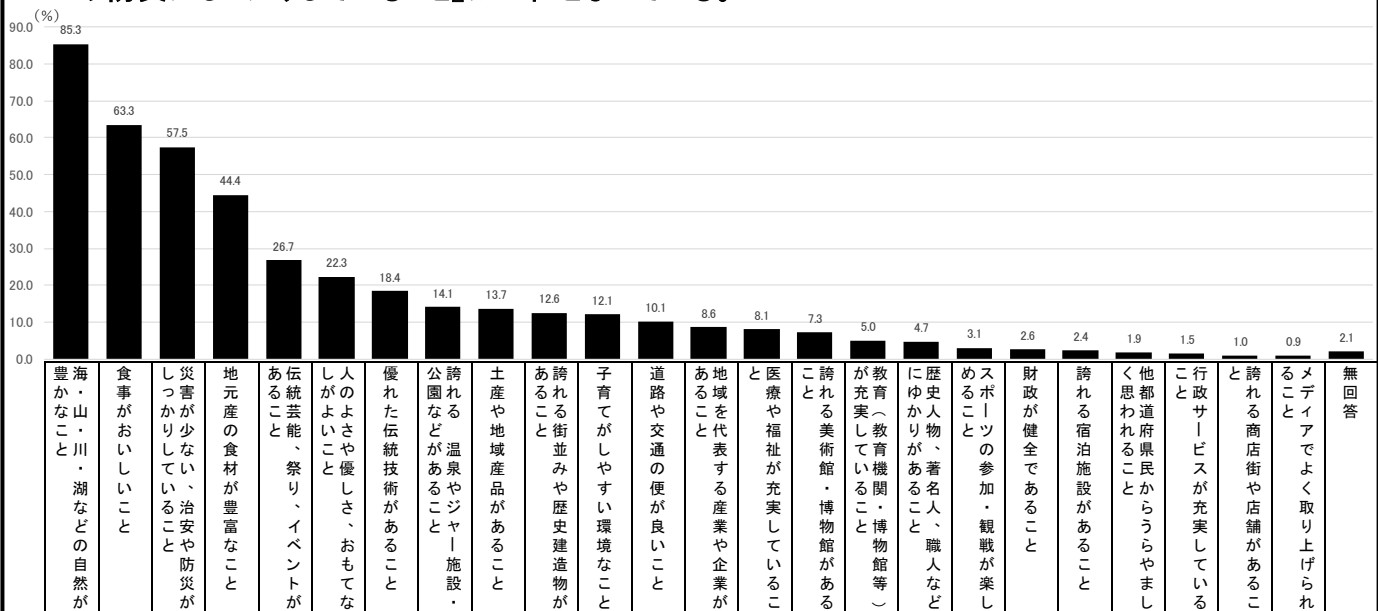
(4) 富山県に対する愛着度について (単一回答)

・『とても愛着がある』と『やや愛着がある』を合わせて81.0%となっている。(R4:79.5%)



(5) 富山県のどのような点を誇りに思うかについて (複数回答: いくつでも)

・前回(R4)同様、『海・山・川・湖などの自然が豊かなこと』『食事がおいしいこと』『災害が少ない、治安や防災がしっかりしていること』が上位となっている。



1 海・山・川・湖などの自然が豊かなこと	85.3% (①85.8%)
2 食事がおいしいこと	63.3% (②63.2%)
3 災害が少ない、治安や防災がしっかりとしていること	57.5% (③57.9%)
4 地元産の食材が豊富なこと	44.4% (④46.6%)
5 伝統芸能、祭り、イベントがあること	26.7% (⑤29.5%)

※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(○内数値は順位)



## <県民参考指標（総合計画）に係る設問>

(6) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。

たくさんある	21.0% (20.6%)
少しはある	69.8% (67.9%)
ない	6.6% (7.8%)

※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(7) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。

十分に充足されている	2.9% (3.4%)
ある程度充足されている	37.7% (37.9%)
あまり充足されていない	33.3% (36.3%)
まったく充足されていない	5.8% (6.9%)
わからない	18.8% (14.6%)

※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(8) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。

十分に果たしている	2.3% (2.6%)
ある程度果たしている	39.8% (41.9%)
あまり果たしていない	34.9% (33.8%)
まったく果たしていない	4.1% (5.4%)
わからない	17.3% (15.2%)

※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(9) あなたは、過去1年間に、生涯学習を行ったことがありますか。

ある	28.7% (28.3%)
ない	69.0% (69.8%)

※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

(10) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。

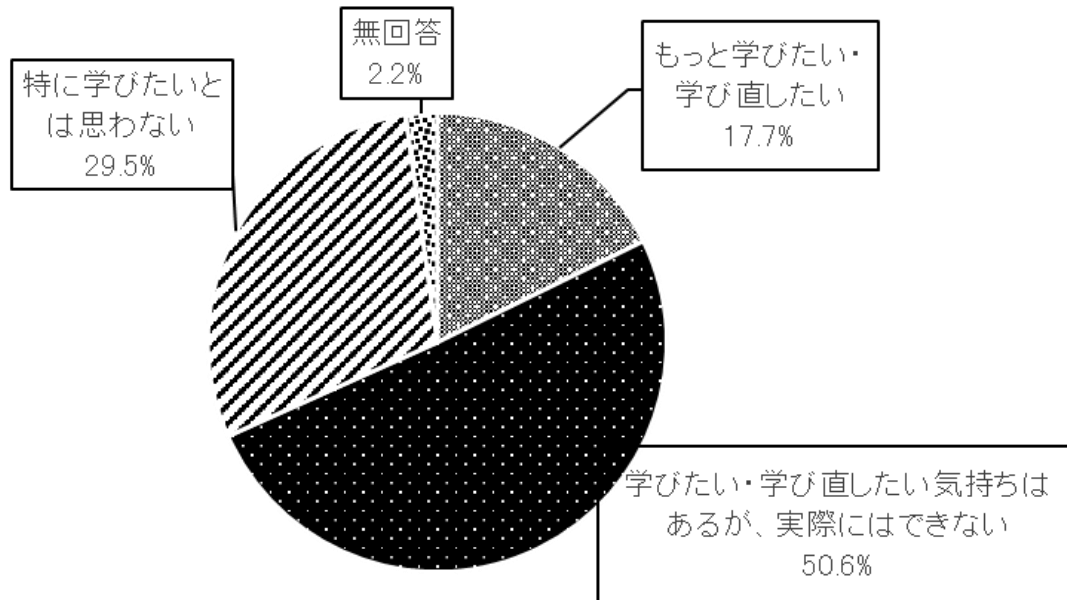
積極的に参加している	12.6% (12.7%)
ときどき参加している	50.3% (45.9%)
参加していないが、今後は参加したい	13.5% (19.9%)
参加していないし、今後も参加したくない	21.7% (20.3%)

※ ( ) 内は前回調査 (R04) の結果

## 15 学びの選択肢について

(1) もっと学びたい・学び直したい気持ちがあるかについて (単一回答)

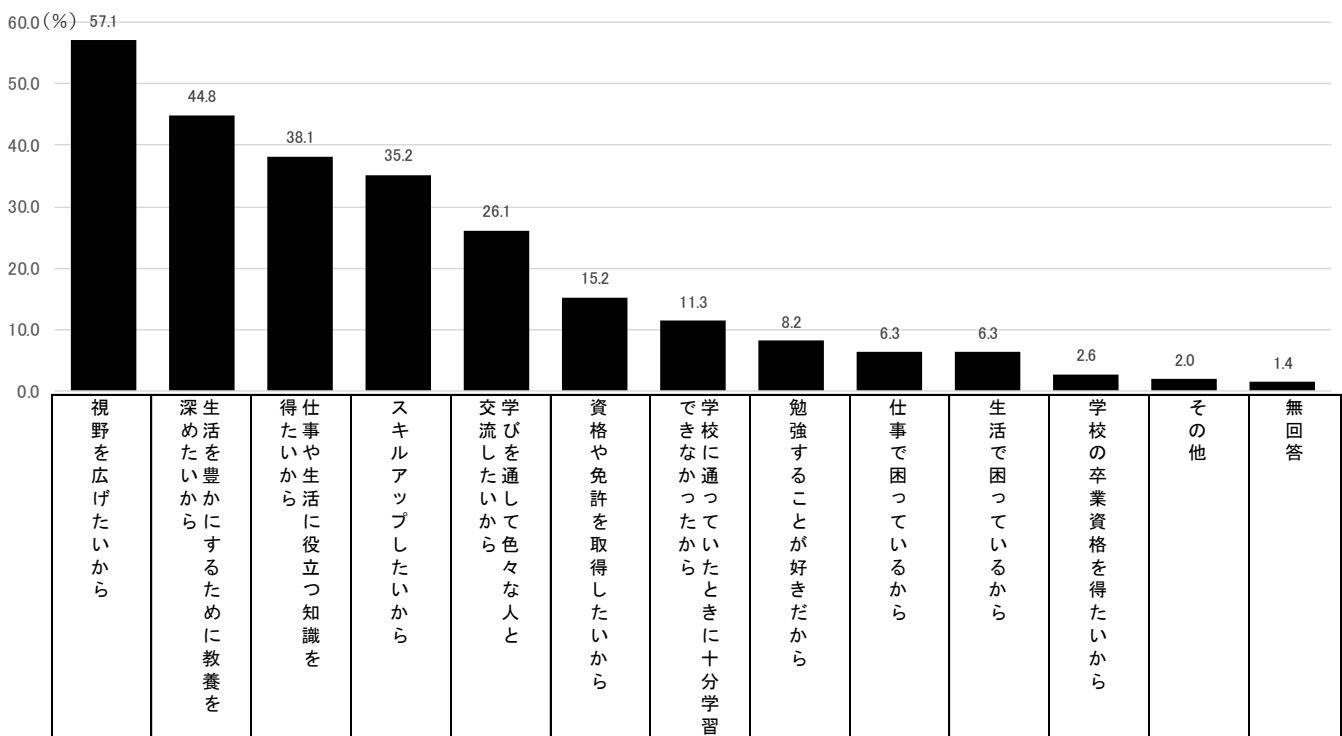
・『学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない』が50.6%と最も多くなっている。



(2) 学びたい・学び直したい理由について (複数回答：いくつでも)

※(1)で「はい、もっと学びたい・学び直したい」、「学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」を回答した者

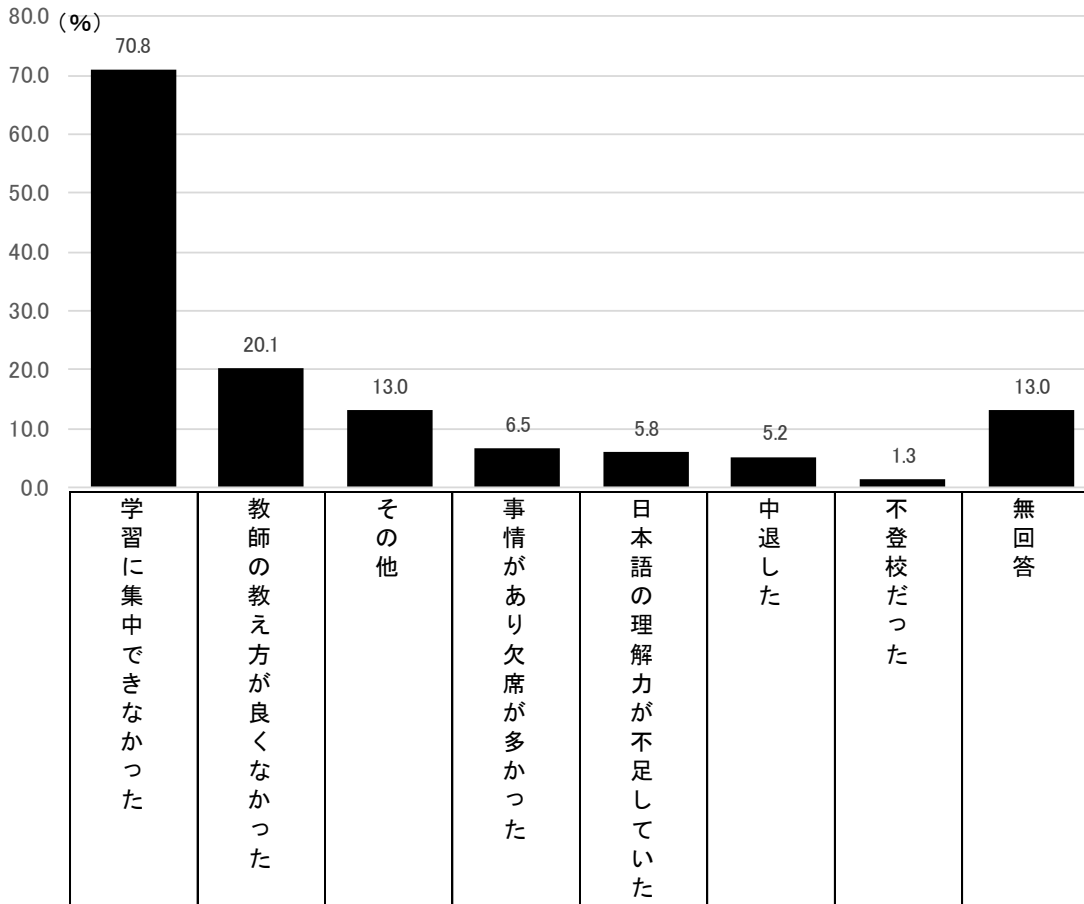
・『視野を広げたいから』が57.1%と最も多く、次いで『生活を豊かにするために教養を深めたいから』が44.8%となっている。



(3) 学習できなかった原因について (複数回答: いくつでも)

※(2)で「学校に通っていたときに十分学習できなかったから」を回答した者

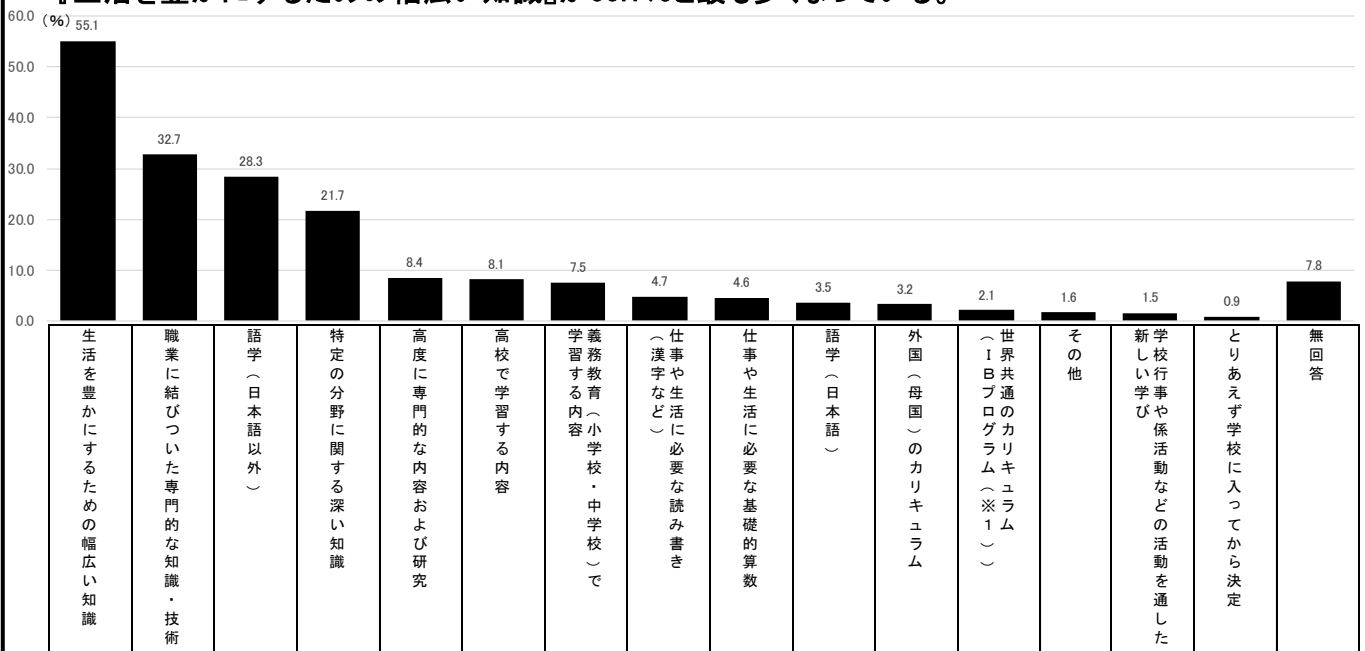
・『学習に集中できなかった』が70.8%と最も多くなっている。



(4) どんなことを学びたい・学び直したいかについて (複数回答: いくつでも)

※(1)で「はい、もっと学びたい・学び直したい」、「学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」を回答した者

・『生活を豊かにするための幅広い知識』が55.1%と最も多くなっている。

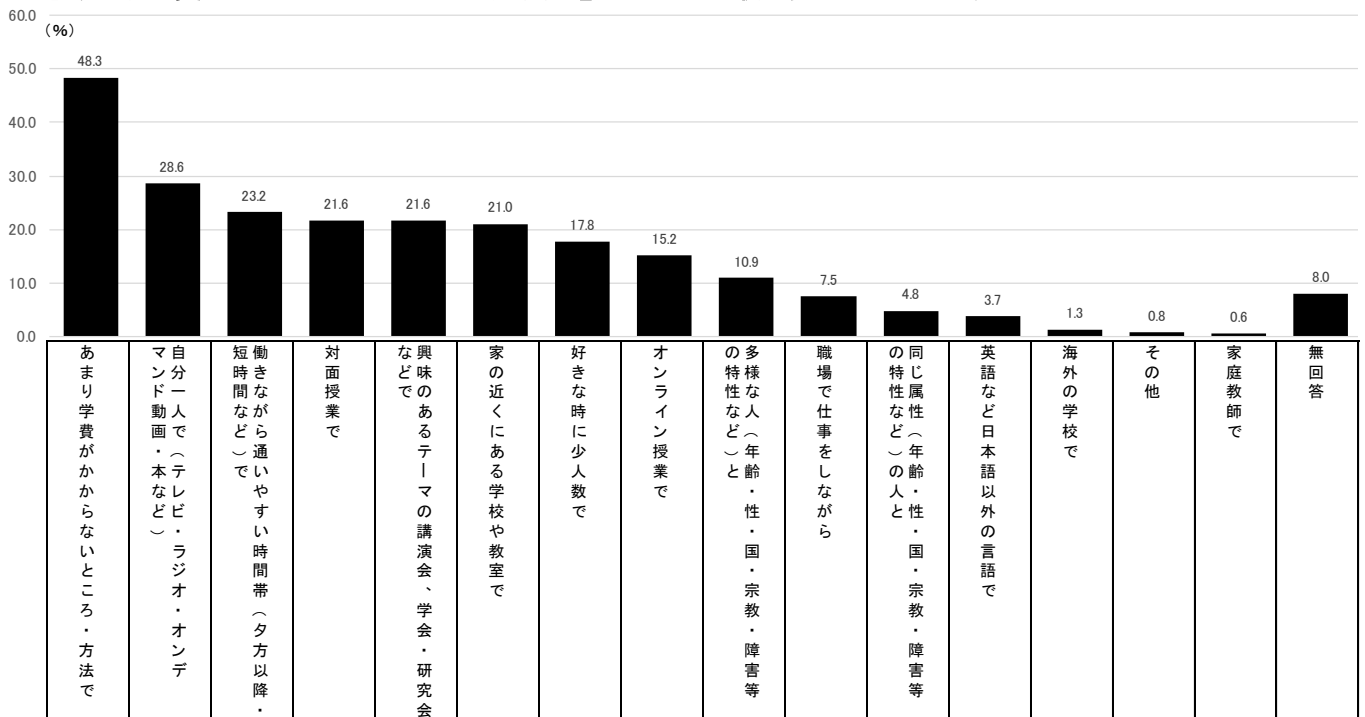


※1「IBプログラム」とは、国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) は、ジュネーブに本部がある国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムです。IBのディプロマ・プログラム (DP) では国際的に通用する大学入学資格 (国際バカロレア資格) を取得することが可能で、海外の多くの大学 (100カ国以上20,000校以上) で入学資格として認められています。

(5) どのような環境や方法で学びたい・学び直したいかについて (複数回答: いくつでも)

※(1)で「はい、もっと学びたい・学び直したい」、「学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」を回答した者

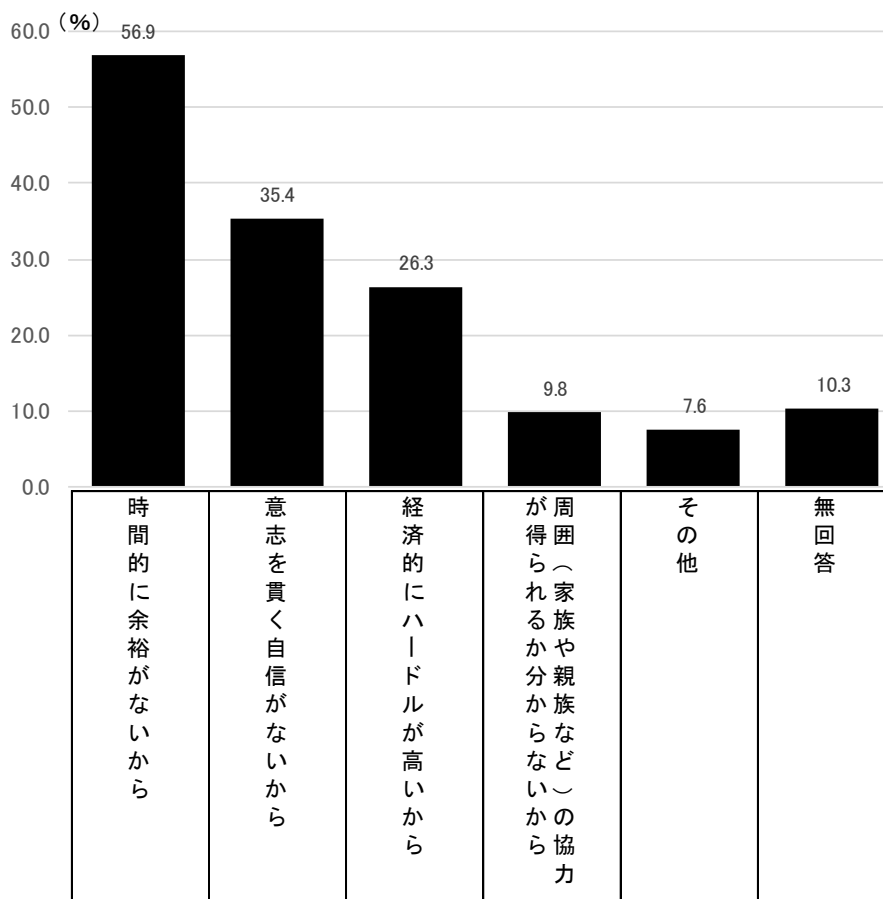
・『あまり学費がかからないところで・方法で』が48.3%と最も多くなっている。



(6) 実際に学ぶ・学び直すことができないのはなぜかについて (複数回答: いくつでも)

※(1)で「学びたい・学び直したい気持ちはあるが、実際にはできない」を回答した者

・『時間的に余裕がないから』が56.9%と最も多くなっている。



(7) 最終学歴 (単一回答)

